

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人 聖母会  
横浜市原宿地域ケアプラザ

# 社会福祉法人 聖母会

## 基本理念と基本方針

「愛と真理に基づき最も困っている人々に手を差し伸べる」

援助を必要としている人々すべてに福祉活動を行ってきた創立の精神を保持し、時代の変革の中で社会のニーズに応じてその使命を果たす。

1. 利用者本人を尊重し、個々のあるべき人生の支援に努める。
2. 地域関係機関と連携し、地域福祉の向上に努める。
3. 法人の理念に基づき、質の高い職員を育成する。

聖母会理事長 塩塚 俊子

# 目次

令和元年度年間大目標の振り返り	1
地域の現状と今後の方向性、施設の適正な運営について	3
全事業共通	3
地域包括支援センター事業	9
居宅介護支援事業、通所介護事業	13
第1号通所事業	15

# 別表目次

別表1 月間目標と反省	17
別表2 防災訓練実施結果	27
別表3 研修参加者一覧	28
別表4 自主事業報告（地域交流・地域包括・生活支援）	33
別表5 地域包括支援センター相談受付件数（推移）	43
別表6 地域包括支援センター訪問実施件数（推移）	45
別表7 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント実績	47
別表8 居宅介護支援事業所実績	48
別表9 通所介護事業・横浜市通所介護相当サービス事業実績	49
別表10 令和元年度決算書類（受託施設）（介護保険施設）	51

## 令和元年度 横浜市原宿地域ケアプラザ振り返り

### [地域交流]

- ・ケアプラザで子育て支援、障がい者支援等を行っていることが、少しずつではあるが周知されてきている。また、「住民同士の交流の場」となるような場づくりとして「おしゃべりカフェ」や「うたごえサロン」、「たいしょう食堂」など立ち上げることが出来ました。引き続き、町内会・自治会、各種福祉団体、子育て支援団体等と情報共有を図りながら、地域福祉の向上を図ります。
- ・ダブルケアについては、昨年度見えてきた課題の解決に向けて、今年度も父親育児講座や親子の居場所づくりなどを行い、当事者の方たちとの交流を図ることが出来ました。引き続き関係機関と連携をとりながら、地域に暮らす誰もが孤立することがないように支援していきます。

### [地域包括支援センター]

- ・介護予防活動では、地域のボランティアや保健活動推進員、自治会等の協力を得ながら継続支援を行いました。認知症予防教室も参加者の協力を得て継続的な開催を行うことが出来ました。今後も高齢化の進行に伴い介護予防活動の発展と推進が必要となるため、引き続き支援を行っていきます。
- ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務では、高齢者が住み慣れた場所でその人らしく、自立した生活が継続できるよう、本人の意思を尊重し、その意向がかなえられるようなケアプランの立案ができるようケアマネジメントを行いました。
- ・独居高齢者、認知症高齢者や様々な課題を抱えている高齢者とその家族介護者に対し、必要と思われる制度や相談先の情報提供、周知活動を行いました。(具体的には成年後見制度の申立て支援・自主事業での周知、介護者の会への参加調整など)
- ・地域包括ケアシステムの構築推進に向け、住民団体の皆様や各関係機関との活動・協働を継続的に進め、様々な社会資源が繋がるために、医療・福祉・介護、各関係機関等との連携を深め、必要な情報や課題が共有できるように努めました。

### [通所介護・総合事業(横浜市通所介護相当サービス)]

- ・日々の在宅生活がより自立・充実したものとなるように、在宅生活の継続に資する活動を年間通して行いました。
- ・近隣の小学校との交流授業や、中学生のボランティア活動の受け入れを積極的に行い、若い人たちに高齢者への理解を深めていただき、幅広い年齢層で高齢者を支えられるような地域づくりに努めました。
- ・外部研修や職場研修に参加し、職員一人ひとりの資質の向上に努めました。

### [居宅介護支援]

- ・住み慣れた地域でその人らしく、自律した生活を送ることができるよう、地域の住民、介護・医療・福祉等の専門機関との連携を図りながら、ケアプランの立案とケアマネジメントを実施しました。
- ・精神疾患、認知症、成年後見制度などの知識を高め、多様なニーズへ対応ができるよう人材育成を図りました。また地域包括支援センターとの連携を着実にし、支援困難と言われる支援を実施しました。

[生活支援体制整備]

- ・ 地域の方々が少しでも多くの地域活動に参加できるように、継続した地域資源の把握やサービスの創出等を行い、色々な種類の自主事業の実施や活動の紹介に努めました。
- ・ 自治会町内会、民生委員・児童委員協議会、地区社協、施設等と連携を図り、更なるネットワーク構築を行い、地域行事や協議体等を通して地域課題の把握や解決に努めました。

# 令和元年度 事業報告

## 地域の現状と今後の方向性

近年の少子・高齢化の現象に加え、家族介護力の脆弱化、かかわりの希薄化が目につくようになってきている。このことは、ケアプラザでの年間相談受付件数の推移（家族相談者件数）からもある程度、その傾向が読み取れる（平成26年度から令和元年度まで連続して減少）。特に認知症により理解力・判断力が低下した対象者への支援・介入にあたっては、その対象者の家族（親族）への協力要請が必須となるが、家族・親族間のこれまでの関係によりその対応方法については、個々のケースに応じ臨機応変に対応していくことが必要となる。また、地域住民の地域ケアプラザに対する期待も高く、それに応えられるだけのマンパワーが不足していることは否めないのが現状である。

今年度も前年に引き続き、これらの現状を打開する方法の一つとして、住民一人ひとりの自助努力や備え、および地域住民による共助を実現するための働きかけを地域ケア会議や自主事業による講座などを通して行ってきた。今後もこれらの働きかけを関係機関と協力して取り組んでいく。

今年度より第三期大正地区ハートプランの振り返り及び第四期計画の策定が開始され、町内会自治会、地区社協や地域の教育機関、障がい者施設、地域ボランティア団体、保健福祉団体・関係事業所、医療機関等の社会資源（インフォーマルサービス）とのネットワークの強化に努めた。次年度以降も地域の課題の解決に向けて関係機関と連携を密にしながら支援を行っていく。

## 施設の適正な運営について

### ■公正・中立性の確保について

- ①居宅介護支援事業所でケアプランを作成する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際、「ハートページ」「戸塚区内居宅支援事業者ケアプラン対応可能件数一覧表」を活用し、特定の事業所に偏らないように努めた。
- ②自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、公正・中立に行うように努めた。

### ■コンプライアンスへの対応について（事故防止、個人情報保護等）

- ①事故防止や個人情報保護について研修を実施した。
- ②ヒヤリハットや事故が起きた際には、記録にとどめ、当日のうちに事故原因を検証し具体的な予防策をたてて、再発防止に努めた。

## 全事業共通

### ■相談・支援

【目標】

地域の身近な相談者として、高齢者、子ども、障害児・者、生活困窮者等の対象を問わず、本人又はその家族等の相談を受けとめるとともに、適切な支援、もしくは関係機関等につなげることができている。

#### 《潜在化しているニーズの把握》

(具体的な取組内容)

来館困難な方への積極的な訪問相談を継続して行っていく。地域の活動に参加した際も相談できる機会であることを毎回周知していく。

(振り返り)

ケアプラザの「場」としての相談は窓口当番制をとり対応、来館困難者へは訪問し対応することができた。地域活動では「相談できる機会である」ことの周知が十分ではなかった。今後も周知及び潜在化しているニーズ把握に努めていく。

#### 《必要な情報の提供》

(具体的な取組内容)

今年度、広報紙の発行及びホームページの更新を年6回行っていく。また、自主事業等はホームページやフェイスブック等も活用し、より多くの世代に向けて発信していく。

(振り返り)

広報紙は年6回発行し、ホームページの更新も行うことができた。また、自主事業の周知としてSNS以外にQRコード等も活用し、より多くの世代に向けて発信することができた。

#### 《総合的な支援》

(具体的な取組内容)

- ①相談に関しては【包括ケース】【地域交流ケース】等個別ケースについて社内メール（サイボウズ）を活用し情報共有を行っていく。
- ②5職種会議（地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援体制整備事業）を原則毎月開催し、各職種で地域活動情報等の進捗の確認を行っていく。
- ③適切な支援が行えるように、研修会への参加、事例検討会等、他の職種との同行訪問等を行っていく。

(振り返り)

- ・社内メールと5職種会議を活用し、ケアプラザとしてチームアプローチによる一体的な支援を行うことができている。必要に応じて関係機関への協力依頼も実施できている。
- ・適切な支援ができるように外部研修や事例検討会に参加しスキルアップを図ることができている。区役所や他職種との同行訪問も実施でき、連携したチーム支援ができている。

## ■地域アセスメント

### 【目標】

地域ケアプラザで行う全ての取組を通じて、「地域の情報（基礎情報・社会資源）」と「課題（個別・地域）」を継続的に把握・分析し、地域ケアプラザ内や関係する専門職、地域住民等でそれらの情報

を共有することができている。

#### 《「地域の基礎情報」の把握》

(具体的な取組内容)

5職種会議で地域活動報告やアセスメントシートの更新を町別に原則毎月開催し、情報共有を行っていく。「地域の定量的データ」の更新を年1回行っていく。

(振り返り)

地域情報シート(アセスメントシート)を町別に作成し、5職種で共有・更新を行うことができおり、地域支援に役立てている。5職種会議を活用し、継続的に地域情報や課題の把握に努めている。

#### 《「地域の情報」と「ニーズ」の共有》

(具体的な取組内容)

地域ケア会議などで見えてきた課題やニーズ・資源等を整理し、Ayamu等を活用した地域情報を提供できるツールとして作成していく。

(振り返り)

地域情報シート(定量的データ等)や協議体等を活用し、専門職や地域住民等に情報提供を行った。また、地域課題解決のツールとして「紙芝居」「カフェマップ」を作成し、地域情報の提供に努めた。引き続き課題解決に向けた支援を実施していく。

### ■住民主体の地域づくりの推進体制の構築

#### 【目標】

地域の情報やニーズから地域支援方針及び地域支援計画を決定し、地域住民に地域ケアプラザ、区役所、区社協等の専門職が寄り添いながら、一体となって地域づくりを行う体制が構築されている。

#### 《地域支援方針及び地域支援計画の決定と適切な遂行》

(具体的な取組内容)

地域ケア会議や協議体等での意見を参考にしながら、アセスメントシートの更新時に、自主事業や地域・個別ニーズ・地域資源等の情報を随時共有し、地域支援計画へ反映させていく。

(振り返り)

協議体等の意見を参考に5職種会議で地域支援計画を策定し支援目標を確認できている。子育て連絡会や障がい学習会等では潜在化しているニーズを把握し、計画に反映させることができている。

#### 《課題解決に向けた働きかけ》

(具体的な取組内容)

地域活動へ参加して、現状の課題の確認を行っていく。地域ケア会議や協議体を開催し、新たな地域課題などの把握を行っていく。

(振り返り)

地域活動への参加、地域ケア会議、協議体を通して地域課題を確認し、一部の地域において新たなサービス創出を行うことができた。(なごみカフェ送迎・おしゃべりカフェ・歌声サロン等)



## ■社会資源の開拓・開発・支援

### 【目標】

地域アセスメント等を通じて把握される「地域課題」に基づき、必要となる社会資源が創出・継続・発展されている。

#### 《新たな取組の創出》

##### (具体的な取組内容)

- ①企業や商店に地域ケア会議や自主事業などに参加していただけるように区役所と協働して呼びかけを行っていく。
- ②関心を持ってもらうために、関係機関や団体等に協力を仰ぎ、まずはケアプラザの役割を知っていただけるようなツール作りを行っていく。

##### (振り返り)

・自主事業においては企業と連携し、地域活動に参画してもらうことができた。継続的なものではないため、今後も区役所等と協働し地域ケア会議や自主事業への参加を呼びかけて、地域活動の創出や継続に結び付けていく。

・地域におけるケアプラザの役割を知って頂くためのツールとして、近隣の中学校と連携しながら紙芝居作りを行うことができた。今後、完成した紙芝居を活用し、ケアプラザの周知活動を行っていく。

#### 《担い手の発掘・育成》

##### (具体的な取組内容)

- ①年1回よこはまシニアボランティア登録研修会を実施し、新たな活動の場の紹介を行っていく。
- ②とつかハートプランを町内会・自治会等と一体的に取り組む事により、社会参加や活動の場を充実させていく。

##### (振り返り)

・地域ニーズから新たな活動を創出することができた。(おしゃべりカフェ、ウイルフエ、たいしょう食堂等) その活動を通して新たな担い手も少しずつ広がりをみせている。次年度もシニアボランティア登録研修会を実施し、新たな活動へ結びつける支援を行っていく。

・第三期とつかハートプラン地区別計画振り返りと第四期計画策定にむけ、地域でのイベントを活用し、地区社会福祉協議会や連合町内会自治会、区役所等と連携し周知活動を行うことができています。イベントではハートプラン周知のためのアンケートや地区社会福祉協議会の取組発表等も実施した。

## ■ネットワークの構築・支援

### 【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、住民、専門職、関係機関を含む多様な関係者（個人、組織及び団体）が、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有することができるネットワークが構築されている。

#### 《地域活動を行う地域住民等のネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

今まで繋がりが無い、地域活動団体や企業、施設等へ地域活動や自主事業等への参加を呼びかけていく。

(振り返り)

新たな協議体(小雀町:集いの場)の開催や送迎サービス(なごみカフェ)を実施し、地域の課題解決に向けての支援を実施できている。多様な主体に参加を呼び掛け、ネットワークが広がっている。

《活動・サービスの創出・継続・発展のための連携・協議の場》

(具体的な取組内容)

地域のつどいの場を継続・発展させるために、地域住民へ周知するマップ作りを行っていく。

(振り返り)

地域のつどいの場を多くの方に知って頂くために、大正カフェマップを新たに作成し、町内会自治会、民生委員・児童委員、地区老人クラブ連合会、カフェの参加者等へ配布し、周知活動を行った。

## ■地域ケアプラザの場を生かした支援

【目標】

子どもや高齢者、障害者等、地域に暮らすすべての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせるよう、地域ケアプラザの「場」を生かしながら、地域課題の解決に寄与することができている。

《自主事業の実施》

(具体的な取組内容)

現在支援している地域食堂と認知症予防体操等の立ち上げの支援や、既存の自主化している団体の課題抽出を行っていく。

(振り返り)

地域食堂等については実施することができた。引き続き自主化に向けて支援を行っていく。また、既存の自主団体へのアンケートの結果、新たな課題として、高齢化に伴う活動の縮小等が表出しているため、活動の継続ができるような支援を行っていく。

《福祉・保健活動団体等が活動する場の提供》

(具体的な取組内容)

①ボランティア施設連絡会を年1回実施し、新たな活動場所の紹介を行っていく。

②居宅介護支援事業所連絡会において、インフォーマルサービス(傾聴ボランティア、集いの場等)の紹介を行っていく。

(振り返り)

・シニアボランティア登録研修会OBメンバーで定期的に情報交換を行い、新たな活動に結びついていく。また、ボランティア受入施設連絡会を実施し、活動場所の提供も行うことができた。

・居宅介護支援事業所連絡会において、地域のケアマネジャーに対し、インフォーマルサービス(コミュニティーサロン情報・お買い物宅配情報・配食サービス情報等)の紹介を行った。

## ■職員体制・育成

### 【目標】

全事業共通及び地域包括支援センター事業、介護保険事業の目標の達成に向けて、必要な資質を備えた職員が適切に育成・配置されており、必要に応じて職員間の十分な連携が行われている。

### 《育成計画の作成とその達成》

(具体的な取組内容)

①7職種会議を原則毎月開催していく。

②地域支援予定表(仮)を作成し、他職種の業務の理解を深めていく。

(振り返り)

・7職種会議を毎月実施し、各職種が連携し、それぞれの視点からみた地域情報の共有を行うことができている。地域団体との関係性をより深めることができるように業務に取り組んでいく。

・7職種会議にて地域支援予定表を共有し、自主事業や地域活動情報の確認を行い、地域づくりを意識して業務に取り組むように努めている。

### 《職員の連携体制の構築》

(具体的な取組内容)

社内メール(サイボウズ)を活用し、ケアプラザ全体及び部署ごとにおける問題や不明点を相談し、情報を共有できるようにしていく。

(振り返り)

社内メール及びケアプラザ全体・部署ごとの会議等を活用し、相談し合える職場環境づくりに努めている。また、職員全体会議において、研修報告等を行い職員の資質向上に努めている。

## ■区行政との協働

### 【目標】

地域ケアプラザと区役所が、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、個別課題や地域課題の解決に向けて、効果的な役割分担のもと、協働して取り組むことができている。

### 《地域ケアプラザと区役所の良好な関係性の構築》

(具体的な取組内容)

地域ケアプラザと区役所がお互いに協力し合いながら、新たなサービスの創出と既存の活動団体への継続支援を行っていく。

(振り返り)

区役所と地域ケアプラザが日常的に連携し、個別ケース対応やサービス創出(元気づくりステーションとたいしょう食堂)、事例提供(区レベル地域ケア会議)、ハートプラン推進等、役割を確認しながら支援を行っている。

### 《地域福祉保健計画の推進》

(具体的な取組内容)

- ①ハートプランの継続した周知活動を行っていく。
- ②地区別計画における地域ケアプラザの役割を確認するために、地区社会福祉協議会役員会へ毎月参加していく。

(振り返り)

・地区社会福祉協議会や区役所、区社会福祉協議会と役割分担を確認しながら、大正連合町内会自治会のイベント（大正フェスタ）等でハートプラン周知活動（アンケート等）を行うことができた。また、ケアプラザのイベントでは周知活動に加え、地区社会福祉協議会の取組についての発表も実施した。

・ケアプラザの役割を確認しながら、地区社会福祉協議会役員会で進捗状況を報告し、ハートプラン推進のツールのひとつとして「カフェマップ」や「紙芝居」を作成した。

## 地域包括支援センター事業

### ■認知症支援事業

#### 【目標】

認知症の人がその意思を尊重され、できる限り住み慣れた環境の中で暮らし続けることができている。

#### 《切れ目のない支援体制の構築》

(具体的な取組内容)

認知症になっても、その人の意思を事前に表出しておくための手段の一つとして、エンディングノートの作成、任意後見制度の活用を地域住民に周知していく。

(振り返り)

ケアプラザでの共催事業の集まりで、戸塚区版エンディングノートの書き方について勉強会を開催し、あわせて任意後見制度についての周知を行った。

### ■権利擁護業務

#### 【目標】

- ①高齢者虐待の未然防止や早期発見および適切な対応を実現することができている。
- ②認知症等により自己の判断のみでは意思決定に支障のある高齢者等の権利や財産が守られている。

#### 《養護者への支援》

(具体的な取組内容)

親族（介護者）による虐待を未然に防ぐための一つの方法として、サービス導入による介護負担の軽減や、介護者の集いへの参加呼びかけを行う。

(振り返り)

窓口相談等で介護負担がある家族介護者に対して、介護者の集い（よつばの会）の情報提供を行った。

《高齢者虐待の未然防止及び成年後見制度の利用促進》

(具体的な取組内容)

成年後見制度を利用することによる本人・親族のメリットについて、個別ケースの対応でより具体的に分かりやすく説明する。また地域住民に対し同制度の周知機会を設けていく。

(振り返り)

成年後見制度の周知の一方法として、専門家を講師に招き一般住民に対し講演会および個別相談会を開催した(深谷俣野地域ケアプラザとの共催事業)。

## ■包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【目標】

ケアマネジャーと地域をつなぐための支援を行い、ケアマネジャーが、高齢者の生活全体を丸ごと(包括的)、どのような状態になっても切れ目なく(継続的)支えることができるケアマネジメントを実践することができている。

《ケアマネジャーが抱える課題や支援ニーズの把握》

(具体的な取組内容)

①居宅介護支援事業所訪問を継続的に行う。

②ケアマネジャーが共通に抱える課題の解決に向けた、関係機関との連絡・調整などの必要な支援や研修会を実施する。

(振り返り)

定期的に居宅介護支援事業所を訪問して、ケアマネジャーと面談することで、抱える課題を共有した。課題解決に向け居宅介護支援事業所連絡会で研修会を開催し、資質向上の支援を行うことができた。

《関係者とのネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

①ケアマネジャーと、地域のインフォーマルサービス組織や関係者等が顔合わせ・情報交換等が出来る場を確保する。

②各種連絡会に参加しにくい環境にある小規模事業所に対する、適切な情報提供を行う。

(振り返り)

・居宅介護支援事業所連絡会を生活支援交流会と合同で開催し、地域のインフォーマルサービスの方に参加頂き情報提供、情報共有することができた。

・小規模事業所(1人ケアマネ)には定期訪問を行い、各ケアプラザ事業予定表・各研修等の情報提供を行った。

《ケアマネジャーについての地域の理解の促進》

(具体的な取組内容)

地域住民や関係者等との意見交換等の場における、介護保険制度やインフォーマルサービス、ケアマネジャーの役割、介護予防に関する普及啓発を実施する。

(振り返り)

居宅介護支援事業所連絡会の場において地域住民(民生委員・児童委員)に、ケアマネジャーの役割、介護保険制度等を周知することができた。今後、一般住民向けにも普及周知が行える場を設ける工夫をしたい。

## ■在宅医療・介護連携推進事業

### 【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、医療機関と介護事業所等(個人、組織及び団体)が、その日常の中で、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、一体的な支援・サービスを行うことができるネットワーク・連携体制が構築されている。

### 《医療や介護の関係者と連携したケアマネジメントの実践》

(具体的な取組内容)

区役所、区内11地域包括支援センター、ケアマネット、ほーめっと、在宅医療相談室、三師会と協力し、ケアマネジャーの医療知識の向上や、医療や介護をはじめとした多職種の意見交換する場や研修を実施する。

(振り返り)

戸塚区11地域包括支援センター主任ケアマネジャー連絡会主催で、医療連携研修を行い、医療(認知症)知識の向上、病院との連携を学び、意見交換する場を設ける事ができた。また、居宅介護支援事業所を定期訪問し、戸塚区在宅医療相談室事例検討会、ケアマネット、ほーめっとの参加を呼びかけた。

## ■指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント)

### 【目標】

心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割をもって生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントができています。

### 《幅広い選択肢からの利用サービスの選択》

(具体的な取組内容)

- ①本人及び家族との信頼関係の構築を図る。
- ②地域の地域資源の情報収集を行いエリアのリストを作成する。
- ③居宅介護支援事業所へ地域資源等の情報提供をする。
- ④委託の場合におけるサービス担当者会議、モニタリング・評価結果などを活用し積極的に関与する。

(振り返り)

生活支援コーディネーターや地域交流コーディネーターと連携しながら、地域のインフォーマルリストを作成し、区役所と共催した介護予防研修の場でケアマネジャーが利用者に情報提供できるよう配布を行った。また、エリアのケアマネジャー連絡会を開催し、配食事業所の試食会を行った。

### 《居宅介護支援事業所委託時の関与・支援》

(具体的な取組内容)

①委託後もサービス担当者会議、モニタリング・評価に関わり居宅介護支援事業所とともに状態の把握に努める。

②介護予防支援業務に関する研修会を開催し、委託の一連の流れや基本的な考え方を共有する。  
(振り返り)

・委託後も居宅介護支援事業所任せにする事がないよう継続的な状態の把握に努めているが、業務の都合等により、サービス担当者会議への参加は十分には行えていない現状がある。

・区役所で開催した「介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務従事者研修」の場で事務手続き(委託業務一連の流れ)を説明した。包括支援センター単体においても介護予防支援に関する研修会が開催できるよう努めたい。

●利用者実績(延べ人数) 単位:人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
254	245	255	258	260	262
10月	11月	12月	1月	2月	3月
268	261	263	249	243	239

■地域ケア会議

【目標】

適切な支援に繋がっていない高齢者に対して、公的サービス、社会資源を活用し、自立に資するケアマネジメントが地域で行われている。

また、具体的な地域課題やニーズを吸い上げ、資源開発や地域づくりにつなげている。

《地域包括支援ネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

個別ケースケア会議や小地域ケア会議において、専門多職種を交えた、多角的な視点からの検討の場を設ける。

地域会議の結果を整理し課題を明確化し、報告書を作成しケースに関わる支援者、地域にフィードバックし役割分担を明確にする。

(振り返り)

徘徊のある認知症高齢者に対する個別ケース地域ケア会議を開催し、支援者間で方向性の確認を行った。また、個別ケースでの地域ケア会議を積み重ね、小地域(包括レベル)ケア会議の開催を通し、エリアの課題を明確化してきた。

《地域課題の発見》

(具体的な取組内容)

日頃の総合相談・支援の分析やこれまでに実施したアンケート、地区診断シート等を活用し地域課題

(仮説)を立てたうえで、包括レベルケア会議を開催する。

(振り返り)

日頃受けている相談を顧みること、認知症高齢者や介護者(家族)の介護力が十分でない世帯に対する支援や地域住民の理解が今後、課題となるとの共通認識に至った。

この課題への対策をエリア特性に応じ立てていくことを最重要課題の一つとした。

## 居宅介護支援事業

### 【目標に対する取り組み状況】

住み慣れた地域でその人らしく、自立した生活を送ることができるよう、地域の住民、介護・医療・福祉等の専門機関との連携を図りながら、ケアプランの立案とケアマネジメントを実施した。

精神疾患、認知症、成年後見制度などの専門的な知識を高め、多様なニーズへ対応ができるよう研修を行った。また、地域包括支援センターとの連携を着実にし、支援困難ケースのケアプランを受け入れ、作成を行った。

#### ●職員体制

居宅介護支援事業所管理者 1名 (常勤兼務)

主任介護支援専門員 1名 (常勤専従)

介護支援専門員 3名 (うち常勤兼務 1名、常勤専従 2名)

#### ●利用者実績 (単位:人) ※ ( ) 内は介護予防プラン・介護予防ケアマネジメント受託件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
76 (22)	74 (23)	71 (25)	72 (25)	71 (26)	73 (27)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
78 (25)	82 (28)	84 (26)	83 (24)	84 (24)	79 (23)

## 通所介護事業

### 【目標に対する取り組み状況】

在宅生活の継続に資する活動を年間通して行い、日々のレクリエーションを選択性にして、利用者が自主性をもって活動できるように支援を行った。学校や活動団体等との交流では高齢者への理解を深めてもらえるように努めた。

●実施日数 週7日 (12/29～1/3を除く)

●提供時間 9:25～16:25

●定員 40名

●実費負担



・ 1割負担分

(要介護1)	692円
(要介護2)	816円
(要介護3)	947円
(要介護4)	1,076円
(要介護5)	1,205円

・ 食費負担 800円

・ 入浴加算 54円/回

・ サービス提供体制強化加算

(I) イ 20円/回：介護職員総数のうち、介護福祉士割合が50%以上

・ 同一建物居住者の送迎についての減算 △101円/日

・ 送迎減算（片道） △51円

・ 中重度者ケア体制加算 49円/回

・ 認知症加算 65円/回

・ 介護職員処遇改善加算（I）

1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)

・ 介護職員等特定処遇改善加算

1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)

介護職員の確保、定着につなげていくため、経験・技術のある介護職員に重点化しつつ、職員の更なる処遇改善を行うとともに、一定程度他の職種への処遇改善も行うことができるもの。

●職員体制

通所介護事業・第1号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）※職員は兼務

管理者 1名（常勤兼務）

生活相談員 5名（常勤兼務1名 常勤介護職兼務4名）

看護職員 6名（非常勤兼務・機能訓練指導員兼務）

介護職員 16名（常勤兼務10名 うち生活相談員兼務4名 非常勤兼務6名）

調理職員 6名（常勤1名・非常勤5名）

運転手 2名（非常勤）

●利用者実績（延べ人数） 単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
836	878	813	842	829	807
10月	11月	12月	1月	2月	3月
785	800	769	686	721	767

## 第1号通所事業

### 【目標に対する取り組み状況】

生活機能維持に向けた取り組み（調理・洗濯等）を行い、在宅での生活がより安全に充実したものとなるように支援を行った。また、利用者が自主的にプログラムを選び、意欲的に活動できるように支援を行った。

●実施日数 週7日（12/29～1/3を除く）

●提供時間 10:30～15:00

●定員 40名

### ●実費負担

#### ・1割負担分

（要支援1） 1,766円

（要支援2・週1回程度） 1,766円

（要支援2・週2回程度） 3,621円

・食費負担 800円

#### ・サービス提供体制強化加算（I）イ

介護職員総数のうち、介護福祉士割合が50%以上

要支援1：78円/月 要支援2（週1回程度利用）：78円/月

要支援2（週2回程度利用）：155円/月

#### ・同一建物居住者の送迎についての減算

要支援1：△403円/月 要支援2（週1回程度利用）：△403円/月

要支援2（週2回程度利用）：△807円/月

#### ・介護職員処遇改善加算（I）

1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数（利用者毎に異なる）

#### ・介護職員等特定処遇改善加算

1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数（利用者毎に異なる）

介護職員の確保、定着につなげていくため、経験・技術のある介護職員に重点化しつつ、職員の更なる処遇改善を行うとともに、一定程度他の職種の処遇改善も行うことができるもの。

### ●職員体制

通所介護事業・第1号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）※職員は兼務

管理者 1名（常勤兼務）

生活相談員 5名（常勤兼務1名 常勤介護職兼務4名）

看護職員 6名（非常勤兼務・機能訓練指導員兼務）

介護職員 16名（常勤兼務10名 うち生活相談員兼務4名 非常勤兼務6名）

調理職員 6名（常勤1名・非常勤5名）

運転手 2名（非常勤）

●利用者実績（延べ人数） 単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	117	114	106	101	92
10月	11月	12月	1月	2月	3月
91	89	86	72	84	84

## <別表1>月間目標と反省

### 1) 地域活動交流事業

- 4月の目標 ① 5月実施予定の「たいしょう食堂」に向けて、スタッフの役割分担など関係機関と連携を密にしながら準備を行っていく。  
② チャリティイベントに向けて参加希望団体への説明会を開催する。また、当日のスタッフの動きの確認や、九州物産品の仕入れ準備などを行っていく。
- 反省 ① たいしょう食堂は、関係機関と連携を図りながら順調に準備を進めることができ、近隣の施設や学校などへの周知活動を行っている。  
② チャリティイベント実施に向けて説明会を開催し、当日の流れなどの説明を行った。九州物産品についても現在購入に向けて準備を行っている。
- 5月の目標 ① 5/6実施の「たいしょう食堂」に向けて最終準備を行い、今後の活動につなげられるように支援を行っていく。  
② 5/18のチャリティイベントを事故なく実施する。
- 反省 ① 第1回目のたいしょう食堂は47名の方に参加して頂けた。今年度は8月、11月、2月の計3回実施する予定としているため引き続き支援を行っていく。  
② 自主事業「九州復興応援チャリティイベント」は500名を超える方にご参加頂き、事故なく行うことができた。
- 6月の目標 ① 毎月開催している自主事業「おしゃべりカフェ」において、試験的に新しいプログラム(歌や音楽など)を導入し、参加者の意見を募っていく。
- 反省 ① 参加者へのアンケートを行った結果、新たな取り組みとして、7月の「おしゃべりカフェ」ではピアノの伴奏に合わせて歌声喫茶を開催することとなり、現在周知活動を行っている。
- 7月の目標 ① ケアプラザの役割を紹介するための紙芝居づくりを始めるため近隣の中学校とも連携を図りながら進めていく。  
② 8月開催予定の「たいしょう食堂」実施に向けて、関係機関とも連携を図りつつ、自主化に向けて支援を行っていく。
- 反省 ① 近隣の中学校にご協力をお願いし、紙芝居づくりを進めることができ、10月末の完成を目指している。  
② 8月実施予定のたいしょう食堂へ向けて、関係機関とも連携を図りながら準備を進めている。また、自主化に向けて引き続き後方支援を行っていく。
- 8月の目標 ① 11月実施予定の開所20周年記念イベントに向けて、活動団体などへの周知と参加への声掛けを行っていく。  
② 8月の傾聴ボランティア養成講座へは現在12名の申し込みを頂いているが、引き続き事業への参加者を募っていく。
- 反省 ① 11月実施予定の開所20周年記念イベントに向けて、活動団体への周知を行い、発表、ワークショップへの参加団体を募ることができた。引き続き参加団体と連携を図りながら準備を行っていく。  
② 傾聴ボランティア養成講座は現在14名の申し込みを頂いている。今年度も卒業生の中から、傾聴ボランティア虹への参加につながるように支援を行っていく。また、近隣の施設からの見学希望もあり、少しずつではあるが同講座の認知度が上がってきている。
- 9月の目標 ① ケアプラザの紹介紙芝居づくりを近隣の学校と協力して行っている。11月の完成に向けて引き続き連携を密に行っていく。  
② 11月の開所20周年記念イベントへ向けて、関係機関との情報共有などを密に行い準備を行っていく。
- 反省 ① ケアプラザ紹介紙芝居づくりは近隣の学校と連携しながら、11月の完成に向けて作業を行っている。

- ② 11月の開所20周年記念イベントに向けて、関係機関、参加団体と情報共有を行いながら準備を行っている。
- 10月の目標 ① 地域住民からの希望もあり、10月から新たに自主事業として歌の会を立上げることとなった。関係機関や支援者とも連携を図りながら開催に向けて準備を行っていく。
- ② ケアプラザにて活動している、体操グループが抱えている課題等の洗い出しを行い、継続して活動できるように、包括とも連携を図りながら課題解決に向けて支援を行っていく。
- 反省 ① 第1回目のうたごえサロンを実施。周知期間が短かったため、参加者が少なかったが、引き続き周知を行い継続して活動できるようにしていく。
- ② 体操グループの見てきた課題を整理し、現在課題解決に向けて支援をはじめ、引き続き包括とも連携しながら実施していく。
- 11月の目標 ① 11/16(土)実施予定の原宿ケアプラザ文化祭を事故なく楽しんでいただく。また、今回災害に遭われた方たちへの募金活動も併せて実施する。
- ② 障がい児者への支援として事業を行っているが、講師や参加者減などの課題を抱えているため、課題解決に向けて関係機関と連携を図っていく。
- 反省 ① 11/16のイベントでは、台風等で被災された方たちへの募金活動を実施し、11,432円募金を行うことができた。また、大正地区社会福祉協議会会長より地区社協の取り組みについて講演をいただき、社会福祉を考える良いきっかけとなった。
- ② 近隣の学校、施設等へ障がい児者へ支援の取り組みについて説明し周知を行った。また、講師についても調整し、新たな取り組みへとつなげることが出来つつある。
- 12月の目標 ① 12/1「父親育児支援講座」を、父親の育児参加や交流を図ることを目的として実施予定。一人でも多くの方に事業を知っていただけるように、引き続き周知活動を行っていく。
- 反省 ① 12/1「父親育児支援講座」では、9組のご家族の参加を頂き父親同士の交流の機会となった。また、ケアプラザ等で行っている子育て支援情報等も周知することが出来た。
- 1月の目標 ① 18地区情報共有連絡会での発表に向けて、地区社協、区役所とも連携を図りながら準備を進めていく。
- ② ケアプラザの周知のため近隣の小学校や中学校への働きかけを進めていく。また、現在作成中の紙芝居も完成に向けて、中学校等と連携を図っていく。
- 反省 ① 2/14の18地区情報共有連絡会発表に向けて、連合町内会、民生委員、地区社協、区役所等と連携を密にしながら準備を進めることができた。引き続き発表に向けて連携を図っていく。
- ② ケアプラザ周知のための紙芝居が完成し、完成お披露目会も中学校で行うことができた。今後地域でのイベントや集まりの中で、紙芝居を使用しケアプラザの周知を行っていききたい。
- 2月の目標 ① 2/14の18地区情報共有連絡会発表に向けて、引き続き関係機関との連携を密にして準備を進めていく。
- ② 精神障害者普及啓発事業の一環として、今年度も手話講座を実施する。当事者の生の手話を学ぶことにより、障がいへの理解を深められるようにしていきたい。
- 反省 ① 2/14の18地区情報共有連絡会にて対象地区の取り組みについて発表を行い他地区や関係団体との情報共有を行うことができた。
- 引き続き、第3期地区別計画の振り返りおよび第4期地区別計画策定に向けて関係機関との連携を密に進めていく。
- ② 今年度も手話講座を実施し、障がいへの理解・普及啓発を実施できた。福祉施設職員や中途障がいの方などのご参加も頂き、会の終了後関係機関とのつながりを作ることができた。

- 3月の目標 ① 昨年より始まった地域食堂（たいしょう食堂）の自主団体発足に向けて支援を行っていく。また、感染症等への対策についても、関係機関と連携し、連絡体制の強化を図っていく。
- ② サブコー会議を通じて、業務の効率化に向けて話し合いを行っていく。
- 反省 ① 2月に予定していたたいしょう食堂はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、次年度以降も引き続き支援を行っていく。
- ② 3月に予定していた会議はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、引き続き業務の効率化にむけて話し合いを行っていく。

## 2) 地域包括支援センター事業

- 4月の目標 ① 新たに入職する包括職員への引き継ぎ事項について、事前打ち合わせに基づき円滑に行う。
- ② 5月から開催予定の「GOGO健康講座」の準備を計画的に行う。
- 反省 ① 新職員への引継ぎは円滑に行うことができた。
- ② 5月から、開催予定の「GOGO健康講座」の準備を計画的に行っているが、参加申込みが少ないため地域への広報を継続する。
- 5月の目標 ① 7月開催予定の「居介支連絡会・生活支援交流会」について、生活支援コーディネーターと企画立案する。
- ② 6月開催予定の地域ケア会議の準備を行う。
- 反省 ① 「居介支連絡会・生活支援交流会」について、生活支援コーディネーターと企画立案し、開催日を7月23日とした。
- ② 地域ケア会議（個別ケース）の開催準備を行い5月30日に開催予定となった。
- 6月の目標 ① 7月開催予定の「居介支連絡会・生活支援交流会」について、生活支援コーディネーターと企画立案する。
- ② 6月開催予定の地域ケア会議の準備を行う。
- 反省 ① 「居介支連絡会・生活支援交流会」について、生活支援コーディネーターと企画立案し、各事業所に案内を送付した。
- ② 地域ケア会議は滞りなく開催できた。
- 7月の目標 ① 特に独居の高齢者に対し、熱中症への注意喚起および緊急時の連絡方法についてアドバイスや対策を行う。
- ② 7月23日開催の「居介支連絡会・生活支援連絡会」について滞りなく開催する。
- 反省 ① 独居高齢者だけでなく高齢夫婦世帯にも熱中症への注意喚起を行った。
- ② 「居介支連絡会・生活支援連絡会」は生活支援と連携し、準備を行った。18事業所28名の参加を予定。
- 8月の目標 ① 後期「GOGO健康講座」の開催準備を滞りなく行う。
- ② 職員の負担軽減ができるよう、業務内容の点検・見直しを行う。
- 反省 ① 後期「GOGO健康講座」の準備を確実に言い、滞りなく開催できた。
- ② 業務内容の点検を各自が適宜実施した。継続目標とする。
- 9月の目標 ① 職員交代（予防プランおよび包括ケース）に伴い、利用者へ迷惑が掛からないよう確実に引継ぎを行う。
- ② 残りの健康講座の準備も引き続き進めていく。
- 反省 ① 職員交代に伴い新旧職員で利用者宅を訪問し、顔合わせを行なうとともに内容の引継ぎ確認を行った。
- ② 10月11月に開催予定の「GOGO健康講座」や自主事業について、講師打合せ、チラシ作成等の準備を行った。
- 10月の目標 ① 介護リハビリ研究会から依頼があった発表の準備を行う。
- ② 戸塚区版エンディングノートの普及啓発の一環として、10月のよつばの会ではエンディングノートの作成目的と書き方についての勉強会を開催するため、その準備を行う。

- 反省 ① 介護リハビリ研究会の発表は台風で中止となったため、次回に持ち越しとなった。
- ② 区で開催された「エンディングノート書き方講座」の資料を参考に、10月25日のよつばの会での勉強会開催に向け準備を行った。
- 1 1月の目標 ① 深谷俣野 CP との共催事業「相続と成年後見制度」の開催に向け準備を行う。
- ② 11月開催の「GOGO 健康講座」を滞りなく開催する。
- 反省 ① 「相続と成年後見制度」の共催事業はセミナー参加者14名、個別相談会に3組の希望者があり、問題なく開催することができた。
- ② GOGO 健康講座、全8回シリーズは滞りなく開催できた。
- 1 2月の目標 ① 今年度2回目の地域ケア会議開催に向け、区との協議を重ね実施する。
- ② 次年度の介護予防計画作成の下準備のため高齢者に適した講座内容や講師の情報収集を行う。
- 反省 ① 地域ケア会議開催に向け、包括と区で内容を協議し1月31日開催予定となった。
- ② 次年度の介護予防計画を立案するため、区保健師と共に話し合いを行った。
- 1 月の目標 ① 2月27日に開催予定の「居介支連絡会・生活支援交流会」について、生活支援コーディネーターと企画立案する。
- ② 1月31日の地域ケア会議開催に向け準備を行い、滞りなく開催する。
- 反省 ① 「居介支連絡会・生活支援交流会」の準備を計画的に行った。
- ② 1月31日開催予定であった地域ケア会議（個別ケース）は、担当民生委員の都合により2月5日開催となり、その調整・準備を行った。
- 2 月の目標 ① 2月開催の個別ケース地域ケア会議を滞りなく開催する。
- ② 3月の包括レベル地域ケア会議開催に向け、関係機関との調整等準備を行う。
- ③ 2月27日開催の居介支連絡会・生活支援交流会を滞りなく開催する。
- 反省 ① 個別ケース地域ケア会議は特に問題なく開催できた。
- ② 3月開催の包括レベル地域ケア会議に向け、参加要請等準備を継続中。
- ③ 2月27日開催予定の居介支連絡会・生活支援交流会は、コロナウイルス感染予防のため中止。関係者に連絡をし、ご理解を得た。
- 3 月の目標 ① 3月31日開催の包括レベル地域ケア会議に向けて、関係機関との調整等準備を行う。
- ② 令和2年度事業計画を立案する。
- 反省 ① 3月開催予定であった地域ケア会議は、コロナウイルス感染予防のため中止（延期）となった。関係機関に連絡しご理解を得た。
- ② 三職種で来年度の事業計画（自主事業含）について情報共有した。

### 3) 生活支援体制整備事業

- 4 月の目標 ① 地域活動の継続のため、各団体や関係機関と連携を密にとりながら支援を行っていく。
- ② 地域活動の創出や継続支援のため、新たなネットワーク構築に取り組んでいく。
- 反省 ① 地域活動において、参加者の意向を確認し、講師と連携をとりながら支援を行った。
- ② 地域活動の創出や継続支援のため、既存団体の支援、既存団体と施設の連携等、新たなネットワーク構築に取り組んでいる。
- 5 月の目標 ① 4月末～5月末の「知っ得講座」の周知を行い、協力施設と連携し開催していく。
- ② 地域活動の創出のため、新たなネットワーク構築に取り組んでいく。
- 反省 ① 4/30に開催した「知っ得講座」は29名の参加があり、協力4施設（職員7名）と連携しながら無事に開催することができた。また、次回5/30開催に向けて関係施設と連携し準備を行っている。

- ② 和みの園カフェの送迎サービス創出にあたり、送迎車の駐車場所を提供頂いた企業との連携等、新たなネットワーク構築を行った。
- 6月の目標 ① 「シニアボランティア情報交換会」の開催に向け、関係者への周知と準備を行う。
- 反省 ② 地区社協や施設等と連携しながら「カフェマップ」の作成・準備を行う。  
① シニアボランティア情報交換会を開催し、周知と準備を十分に行った結果、男性ボランティア8名の参加があった。また、3ヶ月おきに開催していたが、参加者の要望（有意義な機会となっている）により2ヶ月おきに開催することとなった。
- 7月の目標 ② カフェマップの作成にあたり、地区社協や民生主任児童委員、施設等と連携しながら継続して準備を行っている。  
① 生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会「知っ得講座」の開催にあたり、関係者への周知と準備を行う。  
② カフェマップの作成にあたり、地区社協や施設等と連携しながら準備を行う。（継続）
- 反省 ① 自主事業「生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会」（7/23開催予定）「知っ得講座」（7/30開催予定）の開催にあたり、地域の方々への周知や協力者、講師等と連携し準備を行った。  
② カフェマップの作成にあたり、地区社協への進捗報告や掲載施設等と連携しながら準備を行っている。（継続）
- 8月の目標 ① 自主事業「元気UP健康サロン」「ボランティア情報交換会」の開催にあたり、関係者への周知と準備を行う。  
② カフェマップの作成にあたり、地区社協や施設等と連携しながら準備を行う。（継続）
- 反省 ① 自主事業「元気UP健康サロン」では、周知と準備をしっかりと行い、31名の方々に参加頂くことができた。また、「ボランティア情報交換会」では、新たな参加者もおり、ネットワークが広がっている。  
② カフェマップの発行に向け、地区社協や民生委員主任児童委員、施設等と連携、進捗確認を行いながら準備を行っている。
- 9月の目標 ① 「よこはまシニアボランティア登録研修会」を開催し、地域で活躍するボランティアを増やすために周知活動等の事前準備を行う。  
② カフェマップを発行し、周知活動を行う。
- 反省 ① 地域活動交流と連携し周知活動等の事前準備を行い、20名の応募があった。（定員20名）ボランティア受入施設と連携し、コーディネートを行っていく予定。（9/24開催予定）  
② 「大正カフェまっぷ」を民生委員児童委員協議会や地区社協役員会、掲載カフェ等へ配布し周知活動を行っている。
- 10月の目標 ① ふれあい会食会において、近隣施設の協力を得ながら民生委員と連携し、高齢者の送迎をコーディネートする。  
② 自主事業「入所施設見学ツアー」を開催するため、見学施設や送迎車両提供施設と連携しながら準備を行う。
- 反省 ① 2施設（松みどりホーム・ハートケア横浜小雀）の協力を得ながら、民生委員と連携し、高齢者の送迎を無事コーディネートすることができた。  
② 自主事業「入所施設見学ツアー」を開催し、9名の方にご参加頂き、4施設を見学することができた。見学施設と車両提供施設職員と連携し事故なく終えることができた。
- 11月の目標 ① 区レベル地域ケア会議において、「地域との関わり」についての発表依頼があるため、協力施設と連携しながら準備を行う。  
② サービスB補助事業の交付決定団体との意見交換会について、関係機関と協力し、準備を行う。
- 反省 ① 区レベル地域ケア会議において、区役所、協力施設のウイル原宿ステーションと連携し、発表についての準備を行うことができた。  
② サービスB補助事業の交付決定団体との意見交換会について、活動団体や



- 区社協、ケアプラザ等と連携し、準備を行った。
- 1 2月の目標 ① カフェこすずめの立ち上げに向けて、町内会、関係施設等と連携しながら準備を行っていく。  
② ボランティア情報交換会の事前案内と準備をしっかりと行っていく。
- 反省 ① 「森のカフェこすずめ」立ち上げに向けた準備を町内会、関係機関等と連携し行うことができた。(12月20日オープン)  
② ボランティア情報交換会の事前案内と準備を行い、無事に開催することができた。また、参加者同士のつながりも生まれ、新たなボランティア活動が創出されている。
- 1月の目標 ① 「森のカフェこすずめ」の継続支援を関係機関と連携し行っていく。  
② 課題を抱える地域活動団体の継続支援をしっかりと行っていく。
- 反省 ① 「森のカフェこすずめ」の継続支援について、協力者と関係機関と連携し行うことができたが、更なる周知活動に努めていく。  
② 体操教室等、講師の担い手不足における活動継続の相談を受けているため、講師手配の準備を行っている。
- 2月の目標 ① 「元気UP健康サロン」(自主事業)の周知活動、関係機関と連携し準備を行っていく。  
② サービスB補助事業の検討団体と連携し、検討に向けた支援を行っていく。
- 反省 ① 「元気UP健康サロン」の周知活動を丁寧に行い、関係機関や民生委員の協力を得ながら準備し、開催することができた。(参加者約15名)  
② サービスB補助事業検討団体、区役所、区社協と連携し、検討に向けた準備を行うことができた。今後、申請に向けた準備を行っていく。
- 3月の目標 ① ボランティアコーディネーターや講師派遣等を行い、ネットワークを広げる支援を行っていく。  
② とつかハートプラン地区別計画の第3期振り返りと第4期策定に向けて、策定委員会、地域連携チームと協働しながら取り組んでいく。
- 反省 ① 3月中は新型コロナウイルスの影響で活動が自粛されていたが、電話等により予定の確認や講師派遣等の調整を行い、ネットワークの構築に努めることができた。  
② 3月のハートプラン策定委員会は新型コロナウイルスの影響で中止されたが、地域連携チームとの打合せは実施し、地域活動状況や支援方法等について共有することができた。

#### 4) デイサービス事業

- 4月の目標 ① 4月の月上旬に全員参加の機能訓練を予定しているので、計画的に行い事故なく実施する。  
② 新規利用者が増える予定なので、情報共有を心掛け早く慣れていただけるように努める。
- 反省 ① 機能訓練は計画的に行うことが出来たが、あいにく1件の転倒事故が発生してしまい、その日のうちに原因と対策をたて事故予防策を実行した。  
② 職員間で新規利用者の情報を共有し、対応のバラつきを無くすよう努めた。
- 5月の目標 ① 節句週間、母の日週間、園芸週間を事故なく楽しんで頂く。  
② 天候の変化に留意し、職員、利用者の体調を注意深く観察しながら過ごしていただく。
- 反省 ① 節句週間・母の日週間(写真)・園芸週間ともに事故なく楽しんで頂けた。  
② 今月は気温の変化が激しかった為、職員が体調を崩してしまう事はあったが、日々室温等にも気を付け利用者の体調管理に努めた。
- 6月の目標 ① 選択アクティビティ・父の日週間を事故なく楽しんで頂く。  
② 梅雨に入ってくるので、日々の室温管理、湿度管理、手洗い・うがいの励行を徹底し、食中毒予防を心がける。
- 反省 ① 選択アクティビティ・父の日週間を事故なく終えることが出来、利用者様も楽しんで頂けた。

- 7月の目標
- ② 日々の室温管理、湿度管理、手洗いうがいの注意喚起を徹底し、食中毒等に注意している。
  - ① 七夕週間・選択アクティビティを事故なく楽しんで頂く。
  - ② 梅雨に入るので日々の室温管理、湿度管理、手洗いうがいの注意喚起を徹底し食中毒等起さないように注意していく。
  - ③ 暑くなってくるので利用者様、職員の脱水に気を付けて水分補給等の声掛けを行い、体調に気を付けていただく。
- 反省
- ① 七夕週間・選択アクティビティは、どちらの行事も事故なく参加していただくことが出来た。
  - ② 梅雨時期でもあるので日々の室温管理、湿度管理、手洗いうがいの注意喚起を利用者様に確認を行いながら徹底した。また、食事準備の時にハンバーグの味が変わったことがあり、調理レクは中止している。
  - ③ 暑くなってくるので利用者様、職員の脱水に気を付け、必要に応じてミネラル補給飲料なども使用し、水分補給をするように声掛けを行った。
- 8月の目標
- ① 夏祭り週間・おやつ作りを事故なく楽しんで頂けるようにする。
  - ② 暑い時期になるので、室温管理を行い、脱水に気を付けて水分補給の声掛けを行い、体調に気を付けていただくようにする。
  - ③ 夏休みの時期に入るので、車両運転時は子供たちに気を付けて、安全運転を心掛け、車両事故を起こさないようにする。
- 反省
- ① 夏祭り週間・おやつ作りは、どちらも事故なく楽しんで頂けた。
  - ② 室温管理を行い、脱水に気を付けて水分補給の声掛けをし、体調に気を付けて頂くよう、注意喚起を行った。
  - ③ 車両事故もなく安全運転に気を付けることができた。
- 9月の目標
- ① 選択アクティビティ・敬老週間・おやつ作り（おはぎ）を事故なく楽しんで頂く。
  - ② まだ残暑も厳しいので、引き続き室温管理を行い、脱水に気を付けて水分補給の声掛けを行い、体調管理をしていただく。
  - ③ 日が短くなっていく時期なので帰りの送迎時、ライトの点灯を心掛けていく。
- 反省
- ① 選択アクティビティは、皆様に楽しんでいただけた。敬老週間期間は、転倒事故が起きてしまった。
  - ② 暑い時期になるので、室内管理を行い水分補給も心掛けて行えた。
  - ③ 引き続き、日が短くなっていく時期なので帰りの送迎時はライトの点灯を心掛けていく。
- 10月の目標
- ① 運動会週間や近隣小学生との交流行事が多いので事故なく楽しんでいただけるようにしていく。
  - ② 感染症が多くなる時期なので、昼食作りや、おやつ作り等、利用者の体調を優先し対応していく。
  - ③ 日が短くなる時期なので引き続きライトの点灯を心掛けていく。
- 反省
- ① 運動会週間、交流授業共に事故なく楽しんで頂けたようだった。
  - ② 昼食作りや、おやつ作り等、参加していただく方は体調を確認し、咳などの症状が少しでもある方には遠慮していただくようにした。
  - ③ 暗くなってきたらすぐにライトをつけて運転業務を行った。
- 11月の目標
- ① 選択アクティビティ、おやつ作りや昼食作りもあるので利用者の体調や事故などに気を付けながら楽しんで頂けるようにする。
  - ② 感染症等が早くも流行しているようなので利用者の体調をきちんと観察し、変化がある様ならすぐに報告しあうようにする。また湿度や間仕切りなどの室内環境の管理もしっかり行い、感染症が広がるのを防げるように気を付けていく。
- 反省
- ① 選択アクティビティ、おやつ作りや昼食作り等、行事中の事故は無かったが、送迎中に事故が起きてしまった。
  - ② 体調変化はご家族や、ご本人からの申し出の他、来所後の利用者の様子をしっかりと観察し、変化があった場合すぐに報告し合うことが出来た。室内

- 環境管理もしっかり行った。
- 12月の目標
- ① 選択アクティビティ、クリスマス週間等の行事を事故なく楽しんで頂く。
  - ② インフルエンザの流行時期となったので、引き続き、手洗い、うがい、検温を徹底し、同時に室温、湿度に十分注意し室内環境を整える。
  - ③ 日没が早まる為、帰りの送迎時はライトオンし事故防止に努める。
  - ④ 年末を控え、全員で時間の空いている時を利用し、計画的に大掃除を実行して行く。
- 反省
- ① 選択アクティビティ、クリスマス週間とも事故なく楽しんでいただけた。
  - ② インフルエンザの流行が見られるため、手洗いとうがい、検温を毎朝実施して体調管理に努めている。室内の湿度は加湿器にて常に50%以上保つよう確認して湿度管理を行っている。
  - ③ 日没が早まるため、帰りの送迎時には必ずライトをつけ、事故防止に努めている。
  - ④ 年末に向け、職員が空いている時間を利用して掃除を行っている。
- 1月の目標
- ① 1/4～1/7に初釜・絵馬作りの行事があるので、事故なく楽しんで頂く。
  - ② 利用者様の体調管理に注意して、インフルエンザ等に注意する。
  - ③ デイルーム内の室温管理に注意して、湿度・室温管理をしていく。
  - ④ 利用者アンケートの振り返り（アクティビティの聞き取り）を行っていく。
- 反省
- ① 1/4～1/7に初釜・絵馬作りの行事を行い、事故なく楽しんで頂けた。
  - ② 利用者、職員共に来所後のうがい、手洗い、検温を実施したが、職員に1名インフルエンザの発症があった。また、利用者には1名ノロウイルスの発症が見られたが、幸い当施設からの感染ではなく、施設内に蔓延する事も現時点では確認されていない。
  - ③ 室温湿度管理は概ね出来ていた。湿度50%以下となる事は例年と比較して少なかった。
  - ④ 利用者アンケートの振り返り（アクティビティの聞き取り）を行い、総括をして掲示した。
- 2月の目標
- ① 節分週間、ひな祭り週間、ひな祭り工作の行事を事故なく楽しんで頂く。
  - ② 引き続き利用者様の体調管理に注意して、インフルエンザ等に注意する。
  - ③ デイルーム内の室温管理に注意して、湿度・室温管理をしていく。
- 反省
- ① 節分週間、ひな祭り工作週間行事を事故なく楽しんで頂くことができた。
  - ② 利用者の体調管理に注意し、咳などしている利用者にはマスクをしてもらう等、体調の変化に対応することができた。
  - ③ デイルーム内の室温湿度をチェックしながら加湿や換気を行えた。
- 3月の目標
- ① ひな祭り週間、3月後半の外出機能訓練を事故なく楽しんで頂く。
  - ② 日頃の利用者様の体調管理に努め、インフルエンザ、ノロウイルス、今回新たに新型コロナウイルス等の感染症を妨げるように注意喚起をする。（マスク、うがい、手洗い、咳エチケット等）
  - ③ 引き続きデイルーム内の室温、衛生管理に注意していく。
  - ④ マナー接遇に関して利用者様への声掛けや、職員間も気を付けていく。
  - ⑤ 送迎ルートの統一、把握、確認を行う。＜④⑤の2点は2/28サービス向上会議の議題とする。＞
- 反省
- ① ひな祭り週間は実施し事故なく終えることが出来たが、コロナウイルス感染拡大予防の為、おやつ作り、ひな祭り週間の訪問が中止となった。外出機能訓練も中止となる。
  - ② 新型コロナウイルスの感染拡大により、行政機関の指示に基づき、感染拡大防止の為に下記事項を徹底した。
    1. 朝の送迎時検温して頂く。
    2. その際37.5℃以上の発熱があった場合は利用をお断りする。
    - ※職員に関しては自宅にて検温を行い37.5℃以上の場合は出勤停止。
    3. 利用者様が使用したすべての物を消毒する。
    4. 3回の換気を行う。（10：30、12：00、14：00）
  - ③ 引き続きデイルーム内の室温衛生管理に注意していく。湿度・気温の確認を適宜行っている。

- ④ マナー接遇に関して利用者様への声掛けや職員間も気を付けていく。
- ⑤ 送迎ルートの統一、把握、確認。(④と⑤の2点は2/28のサービス向上会議の議題としていたが、コロナウイルス感染拡大予防の為中止、次回議題とする)

## 5) 居宅介護支援事業

- |        |  |
|--------|--|
| 4月の目標  | ① 介護支援専門員実習生の受け入れにあたり、介護支援専門員としての役割や業務について学んでもらう為にしっかりと準備して実施する。   |
| 反省     | ① 介護支援専門員実習生を受け入れ、介護支援専門員としての役割や業務について学んでもらい実施する事が出来た。   |
| 5月の目標  | ① 人事異動に伴い、新職員への引き継ぎをスムーズに行うよう準備をし、利用者・家族に迷惑がかからないようにする。  |
| 反省     | ① 人事異動に伴い、利用者・家族に迷惑がかからないよう現職員・新職員への引き継ぎをスムーズに行うよう準備しており、現在も継続中。   |
| 6月の目標  | ① 新体制になり新しく職員が入職するため、部署内の連携を密にし、業務の引き継ぎおよびケースの引き継ぎ等を滞りなく行う。  |
| 反省     | ① 新体制になり新しく職員が入職したため、部署内の連携を密にし、業務の引き継ぎおよびケースの引き継ぎを行った。現在も継続中。   |
| 7月の目標  | ① 熱中症や脱水、食中毒等の予防の声かけをモニタリング時や電話等で行う。<br>② 他法人との事例検討会を開催する。   |
| 反省     | ① 発症する方はいなかったが、尿路感染症等で体調を崩される方が2名いた。<br>② 他法人との共同事例検討会は15名が出席し、無事に開催できた。   |
| 8月の目標  | ① 気温が本格的に上昇するため、引き続き、熱中症や脱水、食中毒等の予防の声かけをモニタリング時や電話等で行う。<br>② 運営状況点検書を使用し業務の点検を行う。  |
| 反省     | ① モニタリング訪問時、厚生労働省から出ている熱中症予防のリーフレットを配布し注意喚起を行ったが、現時点で熱中症と思われる症状で体調を崩された方が1名いた。<br>② 運営状況点検書を使用し業務の点検を行った。                            |
| 9月の目標  | ① 連日、高温注意報が発令されており、引き続き、熱中症や脱水、食中毒等の予防の声かけをモニタリング時や電話等で行う。   |
| 反省     | ① 熱中症予防の為にチラシ配布や訪問時の声掛けは継続して行ってきた。その結果、救急搬送で入院などの大事に至ることはなかった。   |
| 10月の目標 | ① 契約書等の署名捺印等やケアプランの交付書類のチェックを行う。<br>② 利用者アンケート配付と振り返りを行い、サービスの質の向上を図る。   |
| 反省     | ① 契約書類等の確認については新規を中心に居宅会議の場で確認している。今後も継続する。<br>② アンケートの配布は行っており、11月中旬までには回収して課題の抽出と改善策を検討する。   |
| 11月の目標 | ① 今年はインフルエンザ等の流行が早いため、モニタリング訪問時等に感染症予防のための呼びかけを行う。<br>② 年末年始に各サービス事業者が休業となるためご本人、ご家族に大きな支障が出ないようにサービス調整を行う。                          |
| 反省     | ① モニタリング訪問時等に感染症予防のための呼びかけを行った。今のところ、インフルエンザ等に感染した方は出ていない。<br>② 年末年始に休業となるサービス事業所があるため、各サービス事業所の休業日を確認し、ご本人、ご家族に支障が出ないようにサービス調整を行った。 |
| 12月の目標 | ① 引き続き、インフルエンザ等の感染予防についての呼びかけと体調変化に留意したモニタリング訪問を行う。<br>② 各担当ケースの情報共有を行い、担当者不在時も適切に対応できるようにする。  |
| 反省     | ① 引き続き、インフルエンザ等の感染予防についての呼びかけと体調変化に  |

- 留意したモニタリング訪問を行った。
- ② 各担当ケースの情報共有を行い、担当者不在時も適切に対応できるようにした。
- 1月の目標 ① インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行している為、引き続き、感染症予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行う。
- 反省 ① インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行している為、感染症予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行った。
- 2月の目標 ① 新しく異動してくる職員への引き継ぎをしっかりと行う。
- ② 引き続き、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行している為、感染症予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行う。
- 反省 ① 2月に異動をした職員の引き継ぎは問題なく終了した。
- ② インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行している為、感染症予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行った。
- 3月の目標 ① 2月に異動してきた職員への引き継ぎを今後も続けていく。
- ② 新型コロナウイルス、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行している為、感染症予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行う。また毎日体調確認として検温を行い記録し、訪問後の手指消毒を行う。
- 反省 ① 異動した職員への引継ぎはしっかりできた。
- ② 新型コロナウイルス、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行している為、感染症予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行った。また、毎日出勤前に体調確認として検温を行い記録し、訪問後の手指消毒を行った。

<別表2> 防災訓練実施結果

日時	場所	参加者	内容
令和元年6月15日(土) 10:00～11:00	多目的ホール	戸塚原宿住宅住民、ケアプラザ職員、横浜市住宅供給公社職員、聖母の園職員(住宅相談室担当)、戸塚消防署大正消防出張所所長	火災発生を想定した119番通報模擬訓練、大正消防署出張所所長による火災の事例や防火についての講話を実施。雨天の為水消火器訓練は中止。
令和元年6月18日(火) 14:00～14:50 17:20～17:30	ダイルーム、地域交流各部屋、駐車場他	デイ利用者、ケアプラザ職員、ボランティア	デイ厨房からの出火を想定し、デイ利用者を安全な場所へ誘導する避難訓練と、連絡通報訓練、職員による水消火器使用訓練を実施。 (貸館利用者は利用がなかったため、避難誘導はなし)
令和元年10月25日(金) 14:00～14:40 17:20～17:30	ダイルーム、地域交流各部屋、駐車場他	デイ利用者、ケアプラザ職員、ボランティア	地震発生によるデイ厨房からの出火を想定し、デイ利用者を安全な場所へ誘導する避難訓練と、連絡通報訓練、職員による水消火器使用訓練を実施。 (貸館利用者は利用がなかったため、避難誘導はなし)
令和元年11月9日(土) 10:00～11:00	原宿住宅中庭、ボランティアルーム	戸塚原宿住宅住民、ケアプラザ職員、横浜市住宅供給公社職員、聖母の園職員(住宅相談室担当)、戸塚消防署大正消防出張所隊員	原宿住宅より火災発生を想定した119番通報模擬訓練、大正消防署出張所隊員による初期消火・避難時の注意点等の講話を実施。水消火器訓練実施。
令和元年11月9日(土) 18:50～20:00	聖母の園	聖母の園入所者、聖母の園職員、ケアプラザ職員、修道院シスター、ファミール第2戸塚住民、消防署、消防団	聖母の園において夜間の地震後の火災発生を想定し、施設職員、利用者及び地域住民、消防署の協力を得て、避難訓練を実施。 訓練終了後に反省会を行い、消防署の講評及び参加者による質疑応答が行われた。
令和2年3月12日(木) 10:00～10:30	事務所	ケアプラザ事務所職員	震度5強～7の地震発生を想定し、福祉避難所情報共有システムを使用して、被害状況を事務局(市社協)へ報告をする「福祉避難所情報共有システム活用訓練」を実施。

<別表3>研修

デ介・デ相・デ看・デ調=デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介=居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ=地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予=地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ=生活支援コーディネーター

	日時	研修名	内容	場所	参加者
1	4月1日	新人職員オリエンテーション	法人の歴史、理念、利用者への援助、利用者との契約、家族との関わり、高齢者の健康、衛生管理・感染対応、高齢者の食事、サービス規程・法令順守について他	聖母の園	遠藤(地サ)
2	4月13日	介護リハビリ研究会定例会	生活保護について	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
3	4月17日	ほーめっと定例会	もしバナゲームへアドバンス・ケア・プランニング	戸塚区役所	坂巻(包括)・田尻(居介)
4	4月24日	園内研修(聖母と合同)	就業規則・サービス規程(倫理規定・身体拘束防止・虐待防止・個人情報)	聖母の園	全職種
5	5月11日	介護リハビリ研究会定例会	今さら聞けない薬の話	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
6	5月13日	平成31年度認知症支援事業基礎研修	横浜市の認知症に関する現状他	横浜市技能文化会館	坂巻(包主)
7	5月16日	職場研修	個人情報の利用目的、個人情報取扱規則他	原宿地域ケアプラザ	全職種
8	5月17日・30日	後輩育成担当者のためのOJT研修	社会人として学ぶことの意義他	ウィリング横浜	宇佐美(デ介)
9	5月22日	園内研修(聖母と合同)	事故防止(リスクマネジメント)	聖母の園	全職種
10	5月24日	基礎から学ぶリスクマネジメント研修	リスクの予防と予見性、事例から考える、事故発生メカニズム、ヒヤリハットの重要性他	ウィリング横浜	太田幹(デ介)
11	5月28日・6月5日・11日・18日・19日	平成31年度神奈川県介護支援専門員専門研修過程Ⅱ	ケアマネジメントにおける実践事例の研究他	藤沢市民会館	田尻(居介)
12	5月29日	第4期横浜市地域福祉保健計画講演会	地域共生社会の実現、横浜市の地域福祉計画の特徴他	横浜情報文化センター	奥山(生コ)
13	5月30日	ケアマネット戸塚定例会	訪問歯科の現状と課題他	戸塚区総合庁舎	青山(居介)
14	6月4日	令和元年度介護予防業務研修(基礎編)	横浜市の介護予防事業について、ロコモティブシンドロームの理解他	横浜市技能文化会館	土井(包看)
15	6月8日	介護リハビリ研究会研究発表会	障がいのある人が安心して暮らせる地域づくりのために他	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)

### <別表3>研修

デ介・デ相・デ看・デ調=デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介=居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ=地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予=地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ=生活支援コーディネーター

16	6月10日	摂食嚥下のセルフチェックと誤嚥予防体操	摂食嚥下障害の理解・発見法・対応法・ケアの主な内容他	ウィリング横浜	佐川(デ介)
17	6月17日	摂食嚥下の見方と誤嚥予防のための介助法	誤嚥予防の介助法、食べる姿勢、食物の形状他	ウィリング横浜	佐川(デ介)
18	6月20日	リーダーシップ基礎研修	交流分析(コミュニケーション心理学)、アサーショントレーニング(自己表現の仕方)他	ウィリング横浜	石井(デ介)
19	6月25日	横浜市認定調査現任研修	調査項目の評価ポイント、特記事項のポイント他	関内ホール	河辺(居介)
20	6月26日	園内研修(聖母と合同)	メンタルヘルスについて	聖母の園	全職種
21	6月27日	苦情対応基礎研修	苦情とは何か?サービスそのものへの苦情、サービス提供に仕方についての苦情他	ウィリング横浜	三村(デ介)
22	7月2日	中堅・チームリーダー職員のための接遇研修	福祉現場における接遇、適切な接遇による成功体験の共有他	ウィリング横浜	江藤(デ介)
23	7月3日	伝える伝わる記録の書き方研修	記録の意義と目的、記録の書き方のポイント他	ウィリング横浜	山本(デ介)
24	7月10日	認知症の理解とケア研修	認知症の中核症状とは?問題行動はケアを提供する側の視点によるもの他	ウィリング横浜	三村(デ介)
25	7月18日	公共建築物の保全に関する研修	公共建築物長寿命化対策事業の仕組みについて他	横浜市技能文化会館	奥山(生コ)
26	7月23日	生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会研修会	高齢者の栄養管理、高齢者向け宅配弁当事業者紹介、インフォーマルサービスについて	原宿地域ケアプラザ	青山(居介)・ 田尻(居介)・ 河辺(居介)
27	7月23日	働き方改革実現セミナー	職場の安全と健康を守る「労働基準監督官」による提言他	秋葉原UDXビル	葛西(所長)
28	7月24日	園内研修(聖母と合同)	認知症の理解と対応について	聖母の園	全職種
29	7月30日	ケアマネット戸塚	各種軽減制度の手続き方法について、介護保険以外のサービスについて	戸塚区総合庁舎	坂巻(包主)・ 青山(居介)・ 田尻(居介)・ 河辺(居介)
30	7月30日	思春期のこころとからだ	思春期とは、心の発達、発達障害について他	子ども家庭支援センターくらき	小林(地コ)
31	8月2日	協働入門研修	協働とは?なぜ今協働が必要なのか、協働の効果他	横浜関内ビル	小林(地コ)



<別表3>研修

デ介・デ相・デ看・デ調＝デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介＝居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ＝地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予＝地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ＝生活支援コーディネーター

32	8月2日	特定処遇改善加算セミナー	特定処遇改善の解説と対策	鎌倉商工会議所	葛西(所長)
33	8月20日	認知症キャラバンメイト養成研修	認知症の理解と認知症の人との接し方他	神奈川公会堂	小林(地コ)
34	8月28日	組織で取組むリスクマネジメント研修	リスクとは?業務目的遂行の阻害要因他	栄区社会福祉協議会	瀧澤(デ相)
37	8月30日	安全運転管理者法定講習会	交通事故と企業の責任、企業にかかる4つの責任(民事・刑事・行政・社会的)	戸塚公会堂	瀧澤(デ相)
38	9月4日	デイサービス研究会主催研修	デイサービスの実績向上、業務の効率化のための取組	桜木町シアル会議室	瀧澤(デ相)
39	9月4日	オーラルフレイル予防推進研修	横浜市の歯科口腔保健の推進、健康長寿とオーラルフレイル	開港記念会館	土井(包看)
40	9月6日	施設の指定管理者向け研修	衛生陶器水栓金具に関するトラブルについて	水道局中村ウォータープラザ	瀧澤(デ相)
41	9月13日	地域活動・サービスリストデータベースシステム「Ayamu」操作研修	活動・サービスの新規登録、帳票出力	TKP横浜ランドマークタワー25階	奥山(生コ)
42	9月13日	地域まちづくり支援制度活用研修	地域まちづくり推進制度、地域の交通・移動支援に関する説明他	横浜市庁舎	奥山(生コ)
43	9月14日	介護リハビリ研究会定例会	戸塚未来会議について	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
44	9月19日	福祉職のための成年後見制度の理解	成年後見制度の適用の可否について	横浜市健康福祉総合センター	渡邊(包社)
45	9月25日	個人情報保護研修	個人情報についての法令知識、漏洩事故の事例及び防止策	戸塚区役所	山岡(デ看)
46	9月25日	園内研修(聖母と合同)	食中毒(予防とまん延防止) 感染症(予防とまん延防止)	聖母の園	全職種
47	10月1日	新人職員オリエンテーション	法人の歴史、理念、利用者への援助、利用者との契約、家族との関わり、高齢者の健康、衛生管理・感染対応、高齢者の食事、服務規程・法令順守について他	聖母の園	山本・福島・太田・松野(デ介)・押鐘(デ調)・河辺(居介)
48	10月5日	自殺予防講演会「あなたの生きづらさに寄り添う現場を語る」	生きづらさについて、精神科診療所について	ウィリング横浜	河辺(居介)・蛭名(包予)
49	10月7日	聖母会研修	聖母会の現状、同一労働・同一賃金について他	聖母ホーム	葛西(所長)・渡邊(包社)・瀧澤(デ相)

<別表3>研修

デ介・デ相・デ看・デ調=デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介=居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ=地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予=地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ=生活支援コーディネーター

50	10月8日	聖母会研修	聖母会の現状、同一労働・同一賃金について他	聖母ホーム	奥山(生コ)・坂巻(包主)・内野(デ相)・田尻(居介)
51	10月15日	アセスメント技術	利用者の生活世界を理解する他	ウィリング横浜	田尻(居介)
52	10月16日	介護予防業務研修	リハビリテーションの理念とICFの概念他	横浜市健康福祉総合センター	土井(包看)
53	10月18日	生活支援コーディネーター視察研修	まちづくりのコンセプト「自分たちのまちは自分たちで創っていく」他	東久留米市氷川台自治会	奥山(生コ)
54	10月23日	園内研修(聖母と合同)	緊急時の対応について(講師:大正消防出張所)	聖母の園	全職種
55	10月23日	個人情報保護研修	個人情報についての法令知識、漏洩事故の事例及び防止策	戸塚区役所	北村(地サ)
56	11月9日	介護リハビリ研究会定例会	在宅における緩和ケア	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
57	11月26日	園内研修(聖母と合同)	ターミナルケアについて	聖母の園	全職種
58	11月28日	認知症の理解 色カルタ・クオリアゲーム	色彩ケアが認知症を変える(色の役割・働き他)	すいとぴー東戸塚	蛸名(包予)
59	12月14日	介護リハビリ研究会定例会	仕事も人生も10倍愉しくさせる3つの秘訣他	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
60	12月17日	身体介護技術の基本の「き」	介護は「人間の自然な動き」を理解して行う他	在宅医療トレーニングセンター	太田裕(デ介)
61	1月14日	介護予防業務研修(理論編)	地域共生社会及び地域包括ケアシステムの理念と介護予防の推進	横浜ワールドポーターズ	土井(包看)
62	1月20・21・22・27・29日・3月16日	神奈川県認知症介護実践者研修(3月16日のみ中止)	認知症の人の理解と対応、認知症ケアの基本的視点と理念、認知症ケアの倫理他	神奈川県中小企業共済会館	佐川(デ介)
63	1月19日	2020認知症フォーラム 戸塚区認知症キャラバンメイト連絡会主催	認知症の正しい理解を得て、当事者や家族の気持ちを知ることで、自分たちに何ができるかを考える機会とする	戸塚公会堂	土井(包看)・小林(地コ)
64	1月22日	戸塚区在宅医療相談室主催 第26回事例検討会	ミニ講座「認知症患者と暮らす」、事例検討会他	戸塚区医師会館	青山(居介)・河辺(居介)
65	1月29日	介護予防ケアマネジメントスキルアップ研修	薬の基礎的知識、薬剤師との連携について他	横浜市技能文化会館	土井(包看)

<別表3>研修

デ介・デ相・デ看・デ調=デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介=居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ=地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予=地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ=生活支援コーディネーター

66	2月6日	横浜市地域密着型サービス管理者向け質の向上セミナー	申請書類作成の注意、地域密着型サービス運営の留意事項他	ウィリング横浜	内野(デ相)
67	2月8日	介護リハビリ研究会定例会	地域ケアプラザの役割他	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)・渡邊(包社)・土井(包看)・小林(地コ)・奥山(生コ)
68	2月13日	デイサービス研究会主催研修 接遇研修	ご利用者様の事故、苦情、トラブルへの対応他	ウィリング横浜	太田裕(デ介)
69	2月13日	知っておきたい 神経難病へのアプローチ	デイサービスにおける神経難病の方への看護的介入とその実際他	戸塚区役所	青山(居介)・河辺(居介)
70	2月19日	地福計画に強くなる 地域交流研究会主催	第4期計画の特徴・CPの役割・地域支援への活用方法他	横浜市健康福祉総合センター	小林(地コ)
71	2月20日	食品衛生責任者指定講習会 戸塚区食品衛生協会主催	HACCPに沿った衛生管理、新型コロナウイルス他	戸塚公会堂	マリア(デ調)
72	2月20日	横浜市における成年後見制度利用促進のための職員向け研修	成年後見制度をめぐる動向他	横浜市健康福祉総合センター	渡邊(包社)
73	2月21日	戸塚区在宅医療相談室主催 第27回事例検討会	ミニ講座「統合失調症について」、事例検討会他	戸塚区医師会館	青山(居介)・河辺(居介)
74	2月26日	第2回生活支援体制整備事業研修 横浜市主催	多様な主体との連携を通じ、「アセスメント」「支援計画策定」の大切さ他	ウィリング横浜	奥山(生コ)
75	2月26日	園内研修(聖母と合同)	腰痛予防について	聖母の園	全職種
76	3月4日	トップセミナー	政策動向を踏まえた事業の経営戦略	県社協	葛西(所長)
77	3月9日	これからの人材戦略	人材の採用について、人材定着について他	ウィリング横浜	奥山(生コ)
78	3月9・10日	認知症対応型サービス事業管理者研修	地域密着型サービス基準他	神奈川県中小企業共済会館	内野(デ相)
79	3月14日	介護リハビリ研究会定例会	診療報酬改定、在宅医療について	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
80	3月25日	園内研修(聖母と合同)	次年度予算報告、年間大目標・事業計画	聖母の園	全職種

※取り消し線は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

# 令和元年度 自主事業報告書

## 横浜市原宿地域ケアプラザ

## (地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 傾聴ボランティア養成講座	地域住民対象 高齢者等の個人宅や施設訪問を目的とした傾聴ボランティア養成講座を実施し、今年度は23名の参加があった。カリキュラムに認知症サポーター養成講座を組み入れ「認知症の理解」の普及も行った。講座受講生の中から、傾聴ボランティア虹に参加され、傾聴活動につながり現在施設2件、個人宅5件行っている。	8月25日 8月28日 9月11日 9月19日 計 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 あったまり場	こころの病のある方、家族、地域住民対象 第4月曜日実施。 懇談を中心としたプログラムとして、参加者の希望をお聞きし、デザート作りなども行った。 (コロナウイルス感染症拡大防止の為2月、3月は中止)	毎月第4月曜日 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 子育て連絡会	保育園、主任児童委員、子育て支援拠点、区役所、子育てサークル、子育て支援者、高齢者施設等対象 今年度は3回の子育て連絡会を実施。多世代交流について地域課題などの共有、また年間スケジュールを可視化し共有を図った。 昨年度は公園あそびを大正地区で3回実施。 延べ42名の親子の参加を頂き少しずつではあるが活動が広がってきている。 来年度も3回の公園あそびを予定している。 (コロナウイルス感染症拡大防止の為2月、3月は中止)	5月28日 10月15日 計 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 障がい学習会 「地域であたり前に豊かに暮らしていくために」	障害のあるこどもの保護者どうしの情報交換や研修を通し、地域に必要とするサービスなどの開発や関係機関とのネットワーク作りにつなげることが目的。 第4木曜日実施。 ぐるーぷちえのわ共催。 「我が子との防災について」や、「家庭でのお困りごと」などについて外部講師を招き講座を実施し、延べ59名の方が参加した。	5月23日 7月 4日 9月19日 11月14日 2月20日 計 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 ボランティア総会	聖母の園、横浜市原宿ケアプラザ、深谷俣野地域ケアプラザで活動するボランティア対象 ボランティア同士の交流を目的に情報交換、交流会を実施。	5月

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 原宿ふれあい文化祭	地域住民対象 大正地区の住民同士のつながりの場作りを目的に開催。子どもでも楽しめる体験型のワークショップを中心に実施。他にもケアプラザ利用団体の活動発表やハートプランの周知活動なども実施。ボランティア、参加者含めて約300名以上の来館があった。	11月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 おしゃべりカフェ	地域住民の居場所の1つとして、平成30年度からケアプラザにてカフェをオープンした。 新たなボランティアの担い手を創出させる狙い。 計10回実施し延べ308名の方が参加した。 (コロナウイルス感染症拡大防止の為3月は中止)	原則毎月第1木曜日 (1月のみお休み)  全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
後方支援 原宿フリーマーケット	原宿商店街主催のフリーマーケット。多世代の交流と地域の活性化  フリーマーケットのイベントコーナー出演団体の調整、その他会場の物品借用について調整、中学校のボランティア調整なども実施。	6月2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 大正プロジェクト	近隣小学校の個別支援級に在籍する子どもたちの放課後の活動支援と地域住民に向けた障害の理解や住民同士の交流  高齢者施設の作業療法士などに講師依頼を行い、また地域ボランティアの協力のもと、エアロビ、風船バレー、けん玉などのプログラムを実施。	4月24日 5月22日 6月22日 9月25日 10月23日 11月27日 2月26日 計7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 蕎麦打ち講座	男性向けに広報紙等で参加者を集い、新たな担い手の発掘や講座を通しての仲間作りなどを目的として開催。 活動のきっかけとなる情報や体験の機会を提供し、新たなグループづくりの支援を行うことが出来た。	6月16日 9月8日 9月15日 12月8日 12月15日  計5回

# 令和元年度 自主事業報告書

## 横浜市原宿地域ケアプラザ

## (地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 父親育児講座	ダブルケア（父親の育児参加）の一環として父親育児講座を実施。  父親同士の情報交換や意見交換ができ、顔の見える関係作りへと発展することができた。	12月1日  計 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 手話講座	精神障害普及啓発事業として開催。  当事者の講話や実際使っている手話を学ぶことにより、障害への理解を深める事につながった。 (コロナウイルス感染症拡大防止の為3月は中止)	2月 5日 2月19日  全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 九州チャリティイベント	ケアプラザ貸し館団体の活動発表、大正地区の住民たちの交流とケアプラザ事業の周知。また、売り上げは九州で復興支援や子どもの支援をしている団体（NPO法人カタリバ）へ寄付。	5月18日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 うたごえサロン	地域の居場所の一つとして新たに月1回の歌の会を令和元年10月から開催。 地域の方より新たな歌の会を立ち上げていただきたいとの要望もあり、講師等の調整を行い実施することが出来ている。 (コロナウイルス感染症拡大防止の為2月、3月は中止)	10月19日 11月30日 12月26日 1月25日  全 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 絵本の読み聞かせ	戸塚区の読書活動推進月間に合わせ、絵本の読み聞かせの会を実施  親子で一緒に絵本を楽しみ、親子の交流を促すとともに、ケアプラザの役割を知っていただくために実施。	11月25日  全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 たいしょう食堂	子どもから高齢者までどなたでも参加できる食堂を令和元年度から地区センターを会場として開催。 多世代交流と子どもの孤食予防を大きな柱として、各種団体等と連携しながら実施。次年度以降自主化と継続的な運営ができるように後方支援を行っていく。	5月6日 8月10日 11月4日 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 紙芝居作り	地域住民向けに地域ケアプラザの役割を幅広い世代への周知として近隣の中学校と連携し紙芝居づくりを実施。 (美術部の部活動の時間を使用し作成)	6月28日～ 1月20日

# 令和元年度 自主事業報告書

## 横浜市原宿地域ケアプラザ

## (地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康講座	地域への介護予防普及啓発を目的として「ロコモ予防」「栄養改善」「認知症の理解と予防」「口腔機能向上」「フットケア」の講座を計8回開催をした。	5月7日 5月23日 6月3日 7月1日 8月5日 9月2日 10月7日 11月11日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 楽しくトレーニングしよう会	保健活動推進員と共催で、脳トレーニングと体操（ハマトレ、はまちゃん体操）を地域の高齢者に向けて毎月1回開催をした。体操講師としてはまちゃん体操普及員とハマトレリーダー養成講座終了者に指導をして頂いた。 (コロナウイルス)感染症拡大防止のため3月は中止)	毎月1回（第4日曜日） *12月と3月（第3日曜日） 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防講座 「音楽療法」	認知症予防を目的として音楽療法士を講師に迎え、回想法を用いながら、懐かしい音楽に合わせて、歌やリズムを奏でる講座を開催した。	11月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康講座 「こころと体の健康講座」	高齢者に多いうつ病についての正しい理解と予防法を地域住民に普及啓発することを目的として、協力医に講義をして頂いた。	10月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション 「こすずめ健康ライフ」	元気づくりステーションとして、小雀町での自主活動が継続できるよう、区役所と協働し継続を支援した。内容は健康体操、音楽、認知症予防ゲーム。 (コロナウイルス感染症拡大予防のため、3月は中止)	毎月2回 (第2、第4日曜日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さざん花の会	東俣野、影取地区に平成27年に立ちあがった介護予防自主活動グループに対して、活動継続のための支援を行った。 (コロナウイルス感染症拡大予防のため3月は中止)	毎月2回 (第2・第4火曜日)

# 令和元年度 自主事業報告書

## 横浜市原宿地域ケアプラザ

## (地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者体操教室 継続支援	毎週、介護予防活動（ADL体操）を行っている4グループに対して、ADL体操上級指導者から体操の実技や日常生活に於ける身体の動かし方の基本等についての講座をして頂いた。	4グループに対して それぞれ年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護リハビリ研究会開催 後方支援	4月13日「生活保護について」 5月11日「今さら聞けない薬の話し」 6月8日「研究発表会」 7月13日「研究発表会振り返り」 9月14日「戸塚未来塾について」 11月9日「在宅における緩和ケア」 12月14日「仕事も人生も10倍楽しくさせれる三つの秘訣」 2月8日「ケアプラザのお仕事」 持続的開催に向けた後方支援として、事務局業務を実施。開催通知配信や会場機器設定ほか資料の印刷などを実施。依頼に応じて講師調整業務を実施。多職種連携の推進に繋がった。 3月8日予定していたが新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止した。	毎月開催（8月と1月を除く）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネット戸塚 後方支援 戸塚区主任cm連絡会	年7回の定例会を通して、区内で活躍するケアマネジャーの資質向上のサポート支援を行った。内容としては制度理解やケアマネとしての高齢者虐待の理解や面接技法の学び、認知症の理解、腰痛予防のための最新の福祉用具の活用法の体験等、居宅事業所のケアマネジャーと共に学び体験により連携を推進し、後方支援を行うことができた。	7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション GOGO健康クラブ	大正団地で平成31年度に立ち上がった元気づくりステーションに対して、その活動が継続できるよう活動支援を行った。 内容は健康体操や脳トレ、茶話会。 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月26日と3月は中止）	月2回 （第2、第4水曜日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 原宿コグニサイズの会	原宿コグニサイズの会と共催で、地域の高齢者を対象に、認知症予防を目的として「コグニサイズ」の講習を行った。 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月は中止）	月1回（土曜日）



# 令和元年度 自主事業報告書

## 横浜市原宿地域ケアプラザ

## (地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 足・腰鍛えて 元気アップ講座	区と共催で、原宿団地での介護予防活動グループに対して、地域リハビリ事業を実施した。 内容は理学療法士によるロコモティブシンドローム、オーラルフレイルについての講義と体操。	10月9日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療連携研修 戸塚区主任cm連絡会	戸塚区内のケアマネジャー対象に「認知症の方を医療につなぐには」とのテーマで神奈川県立精神医療センターの医師と医療相談員による研修を開催した。 医師からは「認知症医療に関する最近の動向」「身病と認知症予防」「県立精神医療センターにおける取り組み」について、医療相談員からは「受診につなげるには」「もの忘れ外来の役割・特色」「相談時に確認しておくこと」等について講義してもらった。その後グループワークを実施し、医師と相談員にいくつかのグループを回ってもらい、質疑応答と意見交換をした。	12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅主マネ研修 戸塚区主任cm連絡会	戸塚区内の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャー対象に「サポート力を高める実践力2」～リーダーである自分を知り、育成する相手を知る～をテーマに横浜市福祉サービス協会南介護事業所所長新井仁子先生をお招きして、スーパービジョンを学ぶ講座を開催した。	2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルパネット 後方支援 戸塚区主任cm連絡会	毎月（2・3月は中止）定例幹事会を行い活動内容の検討と情報共有を行った。総会の基調講演では、訪問介護事業所の課題である「慢性的な人材不足」のなか訪問介護員やサ責が働いていけるよう、「働きやすい事業所づくり」についての講演があった。 また、ヘルパーの多くが課題に感じている「認知症」についても1月に講演会を開催した。その他、総会を含め計5回の定例会を実施したが、毎年行われていた介護技術研修については2月に予定されていたが新型コロナウイルス禍のため中止となった。	14回

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>居宅介護支援事業所連絡会・研修会</p>	<p>生活支援コーディネーターと協働し、生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会を実施し、ケアマネジャーの資質向上のための研修会を実施した。</p> <p>7月 ①インフォーマルサービス団体の取り組み・活動報告、配食サービス事業書による特徴紹介・試食会。介護予防計画書における、サービスBの位置付けについて等。 ②「高齢者の健康管理」研修</p> <p>2月 医師によ「高齢者のうつ病について」医療研修をケアマネジャーと民生委員の合同研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。</p>	<p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>ほーめっと後方支援戸塚区主任cm連絡会事業</p>	<p>月に1回の定例幹事会では運営についての協議や定例会の準備・振り返りをし、また多職種での情報交換等を行った。</p> <p>総会の第2部では在宅医療相談室により「もしバナゲーム」を行った。定例会は市民講座を含め計5回開催。内容は「非がんの看取り」「HUGゲーム」「これからの医療と介護のカタチ」「災害について」「高齢者虐待の基礎知識」で、講座やグループワークにて研修を行った。</p> <p>3月は新型コロナウイルス感染拡大予防のため「せん妄」研修は中止となった。</p>	<p>6回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>新任・就労予定ケアマネジャー研修戸塚区主任cm連絡会</p>	<p>区内でおおよそ1年未満の新人のケアマネジャーやこれから就労する予定のケアマネジャーに向けて、「高齢者を地域で支える」をテーマに1部として「戸塚区内のインフォーマルサービスにつて」在宅医療相談室、社会福祉協議会から情報提供の協力を頂く。2部では「地域包括支援センター主任ケアマネジャーと話そう」とのテーマに、自立支援について、民生委員との連携について等、グループワークによる研修を実施した。</p>	<p>8月</p>

# 令和元年度 自主事業報告書

## 横浜市原宿地域ケアプラザ

## (地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンディングノートの書き方 (よつばの会講習会)	介護者の集い「よつばの会」の会員の要望により、今年は戸塚区版エンディングノートの内容と実際の書き方について知っておきたいとの要望があったことから、包括職員による同エンディングノートの内容説明と必要性について勉強会を行った。	11月22日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度と相続 (深谷俣野ケアプラザとの共催)	成年後見制度の周知にあたり、今年度も昨年に引き続き後見人等の専門職の一つである税理士を講師に招き、同制度の概要と共に相続についての基礎について講座と個別相談会を開催した(開催場所は深谷俣野CP、協力は東京地方税理士会およびNPO法人 税理士による公益活動サポートセンター)。対象は地域住民で14名の参加があり、3組の個別相談が実施された。	11月14日・1回

横浜市原宿地域ケアプラザ

(生活支援)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	元気な高齢者が地域の介護施設等でボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいつくり」を促進するとともに、これからの介護施設等の地域とのつながりの深まりや施設利用者の生活をより豊かにすること。登録研修会を行うとともに、近隣の高齢者ボランティアの受入施設の職員にも参加をして頂き、施設や具体的なボランティア活動について紹介してもらい、より身近に感じてもらえる働きかけを行った。	9月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成31年度生活支援体制整備事業協議体【カフェなごみ×よりどころ】	「集いの場」を開催し1年が経過した。東俣野町の地形的な問題で、開催場所である和みの園から遠い住民の参加が難しいことが分かった。そこで関係者と慎重に検討し、送迎サービスを行うことで、より多くの方に来て頂くための支援方法を確立することができた。	4月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
令和元年度生活支援体制整備事業協議体【小雀エリア】	地域活動に参加されたことのない方々に対して、地域活動へ来て頂くための魅力ある通いの場づくりとして、カフェを検討し実施することができた。	8月7日 9月19日 10月28日 12月9日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
頑張るシニアの元気UP健康サロン	町内会（影取・東俣野）とともに、近隣施設や事業者等の協力を得ながら、健康講座とサロンを開催する。定期的に外出する機会を確保し、健康に関する講座を実施。 【テーマ】STが行う認知症予防、自分でできる防災減災、骨密度測定と骨粗鬆症予防教室、介護保険申請と福祉用具を買う借りる、気持ちのいいスタイル実践編、認知症サポーター養成講座	4月12日 6月7日 8月2日 10月4日 12月6日 2月7日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
森のカフェこすずめ	小雀町内会は町内会活動や敬友会活動が活発に行われており、他の活動も町内会役員が活動を支援されている。現在の活動に加え、今まで実施していなかったカフェを行い、地域活動に参加されていなかった方々の掘り起こしを行う。 ※令和2年3月27日、4月17日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	12月20日 1月17日 2月21日

# 令和元年度 自主事業報告書

## 横浜市原宿地域ケアプラザ

## (生活支援)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
令和元年度 生活支援交流 会・居宅介護事 業所連絡会	地域のケアマネジャーを対象に、高齢者の健康に関する講座（栄養管理）や地域のサロン情報、配食業者の紹介、試食等を行い、在宅生活を継続するための情報をお伝えする。 ※令和2年2月27日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	7月23日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 情報交換会	シニアボランティア登録研修会終了者及び施設見学会参加者のOB会として、ボランティア活動を継続するための意見交換会。  参加者の活動報告、ボランティア活動を継続するための勉強会などを実施。	6月10日 8月5日 10月7日 12月9日 2月10日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
知っ得講座	少しでも安心した老後を迎えることを大きな目的とし、知っておくと役に立つ情報（近隣の入所施設の情報）を連続の講座として開催する。  有料老人ホーム・小規模多機能型居宅介護支援事業所・グループホーム・老人保健施設・特別養護老人ホーム（従来型・ユニット型）	4月30日 5月30日 7月30日 8月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者ボラン ティア受入施設 連絡会	ボランティアの受入体制や活動状況、活動団体等について情報交換・共有を行い、ボランティア活動等を通して施設として行っている取り組みを共有する。また、登録研修会を通して地域の方々に発信していく。	9月24日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
終活講座	「いずれ誰もが迎える人生の終わり」そこで行わなければならない代表的なものについて事前に情報提供を行い、安心した終活に取り組んで頂く。  生前整理で片付いた人生・磯野家に学ぶ相続	9月30日 10月30日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
入所施設見学ツ アー	少しでも安心した老後を迎えることを大きな目的とし、知っておくと役に立つ情報を掘り下げ、近隣の入所施設をめぐる見学ツアーを開催する。	10月15日

年間相談受付件数（推移）

相談	相談者													
	相談者	家族	近隣者	相談機関関係者	匿名希望	その他	合計	相談者	家族	近隣者	相談機関関係者	匿名希望	その他	合計
1224年度	2,524	2,208	316	118	45	583	804	904	219	827	646	62	19	8
1225年度	2,588	2,357	231	46	51	481	810	1,108	224	781	636	80	18	12
1226年度	2,357	2,148	209	30	3	395	763	1,067	176	647	689	95	7	4
1227年度	2,487	2,232	255	32	10	547	809	989	215	765	677	92	16	8
1228年度	2,595	2,258	337	32	5	536	846	1,063	383	835	726	80	17	33
1229年度	2,411	2,044	367	25	1	496	776	987	355	812	729	93	25	33
1230年度	2,471	2,177	294	23	0	556	782	992	343	748	691	86	13	29
1231年度	1,925	1,746	179	19	2	452	624	843	258	613	378	53	11	32
1232年度	1,780	1,620	160	9	0	407	484	757	239	523	440	112	31	11
1233年度	1,814	1,618	196	27	0	447	576	709	381	606	476	36	12	19

- ・年間の相談件数は昨年度から微増となった（1814件）。
- ・相談対象者の属性に着目すると、認知症の方の件数が増加し（381件で前年比159%）、この件数は統計を取り始めてからの最多記録（平成26年度の383件）に迫るものであった。

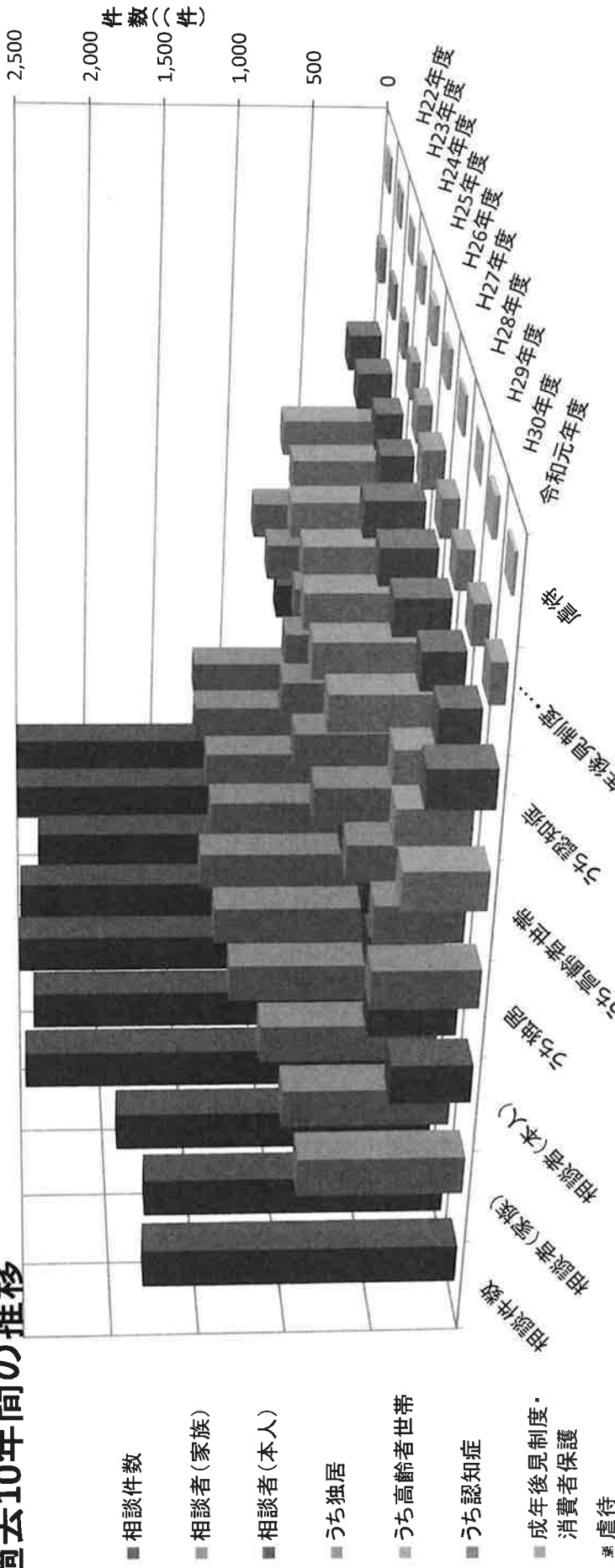
相談	相談者										相談機関										
	相談者	家族	近隣者	相談機関関係者	匿名希望	その他	合計	相談者	家族	近隣者	相談機関関係者	匿名希望	その他	合計	相談者	家族	近隣者	相談機関関係者	匿名希望	その他	合計
1224年度	645	1,223	112	465	150	159	10	1,738	129	227	101	148	319	168	44	15	808	8	54		
1225年度	551	1,251	114	384	187	179	10	1,927	144	206	103	192	242	106	26	15	669	9	64		
1226年度	506	1,208	96	332	136	186	13	1,878	53	48	50	158	258	92	33	10	641	3	37		
1227年度	550	1,216	137	406	151	134	8	1,844	46	187	97	154	263	97	58	26	515	10	39		
1228年度	578	1,322	87	437	195	(その他)198	198	1,953	18	—	64	154	354	126	94	35	454	6	236		
1229年度	479	1,270	120	335	182	(その他)217	217	1,768	28	—	50	106	269	112	139	27	433	6	248		
1230年度	416	1,214	99	398	195	298	298	1,845	20	—	58	116	265	139	107	20	391	12	332		
1231年度	455	1,070	102	280	158	155	155	1,371	19	—	40	76	251	162	101	6	536	4	333		
1232年度	516	990	120	229	127	127	127	1,074	25	—	44	62	218	133	96	32	512	9	404		
1233年度	463	957	66	264	141	160	160	1,236	1	—	45	66	197	126	91	20	555	10	318		

・相談者の内訳をみると、昨年に引き続き「家族」からの相談が減少している（5年連続）。本人に家族がいないか、いても関係性が希薄で協力が得られないなどの理由が考えられる。

・「訪問・安否確認」の件数が大幅に増えているが、今年度の訪問件数（別表6参照）が前年比減少（475件→342件）していることから、実際には訪問によらない安否確認が行われたと考えられる。

相談	相談者										相談機関										
	相談者	家族	近隣者	相談機関関係者	匿名希望	その他	合計	相談者	家族	近隣者	相談機関関係者	匿名希望	その他	合計	相談者	家族	近隣者	相談機関関係者	匿名希望	その他	合計
1224年度	626	496	184	5	26	542	153	228	8	10	112	1,459	130	171	111	197	92	742	30		
1225年度	663	531	225	6	42	518	143	221	2	5	91	1,595	138	103	103	213	40	661	48		
1226年度	608	521	251	3	50	542	166	295	2	5	108	1,741	54	27	61	206	59	611	20		
1227年度	766	714	254	16	56	614	158	346	1	5	95	1,691	43	127	107	198	44	499	18		
1228年度	864	882	271	12	53	697	157	309	7	19	100	1,000							319		
1229年度	758	842	274	14	42	642	150	350	3	5	158	955							357		
1230年度	892	824	290	21	40	616	201	349	2	10	134	995							576		
1231年度	757	529	192	8	43	465	182	234	20	23	128	829							339		
1232年度	754	458	198	8	33	325	127	173	1	26	109	625							444		
1233年度	1,030	545	146	3	26	382	101	174	1	14	65	889							280		

# 過去10年間の推移



	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度
■ 相談件数	2,524	2,588	2,357	2,487	2,595	2,411	2,471	1,925	1,780	1,814
■ 相談者(家族)	1,223	1,251	1,208	1,216	1,322	1,270	1,214	1,070	990	957
■ 相談者(本人)	645	551	506	550	578	479	416	455	516	463
■ うち独居	827	781	647	765	835	812	748	613	523	606
■ うち高齢者世帯	646	636	699	677	726	729	691	378	440	476
■ うち認知症	219	224	176	215	383	355	343	258	239	381
■ 成年後見制度・消費者保護	44	26	33	58	94	139	107	101	96	91
■ 虐待	15	15	10	26	35	27	20	6	32	20

# 年間訪問実施件数 (推移)

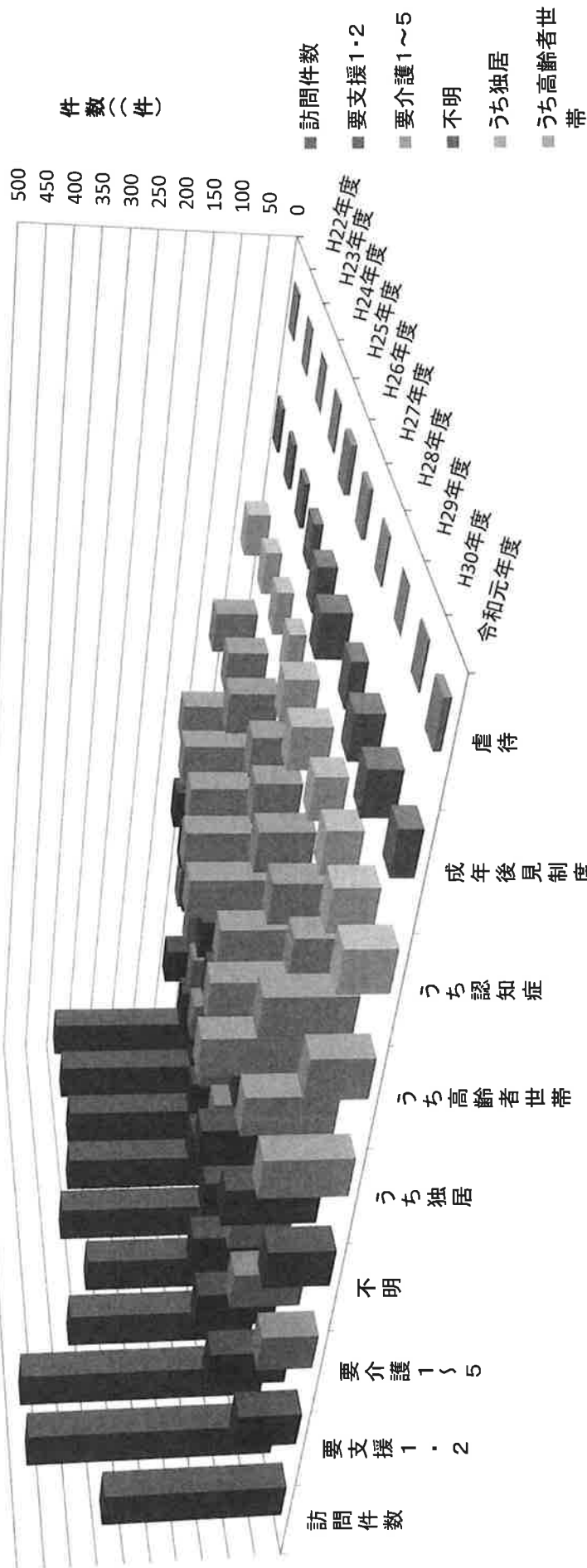
訪問	訪問件数	訪問先		受診者				属性内数		その他				
		家庭	病院・施設	自立	特定高齢者	要支援1・2	要介護1・5	65歳以上	その他・不明		うち認知症	うち単居	うち高齢者世帯	
122年度	342	300	35	7	10	0	102	93	122	44	126	83	6	0
123年度	337	277	51	9	6	5	84	92	124	31	142	78	25	1
124年度	332	287	41	12	13	1	76	100	136	31	146	94	6	0
125年度	343	275	55	13	2	1	96	115	121	31	172	71	8	0
126年度	369	336	40	17	8	1	114	113	125	61	183	86	7	1
127年度	326	307	19	—	3	0	105	110	96	71	144	102	11	5
128年度	373	361	12	—	3	0	146	107	108	56	180	98	8	1
129年度	479	458	21	—	3	0	154	114	192	61	214	84	15	6
130年度	475	464	11	—	3	0	148	129	168	76	160	156	25	19
令和元年度	342	327	15	—	0	0	117	100	116	84	151	104	8	1

- ・年間訪問件数は前年を大きく下回り、342件(前年比72%)となった。
- ・そのような状況下で、訪問対象者の属性のうち認知症の件数が84件と過去最多となった(3年連続で増加傾向)。

訪問	安否確認・確認状況	介護指導・助言等	申請受付		他機関等とのサービス調整				情報提供										
			介護保険	行政サービス	在宅サービス	施設・医療機関	区役所	協議会	その他	介護保険	行政サービス	マイナンバー	施設・病院紹介	その他					
122年度	270	79	27	8	6	137	34	27	3	0	22	224	24	56	12	6	3	77	18
123年度	292	89	31	5	12	115	38	26	1	0	22	234	28	49	7	7	2	121	11
124年度	286	111	40	3	18	90	36	42	0	0	21	233	21	47	4	9	1	94	11
125年度	261	111	41	1	10	96	36	46	0	0	20	239	16	50	4	17	3	84	22
126年度	290	162	53	1	17	158	32	59	2	0	27	264	14	19	9	34	11	49	70
127年度	252	189	17	3	7	151	26	66	0	2	47	225	11	15	12	52	8	43	49
128年度	323	190	33	2	7	162	29	69	2	0	36	281	10	17	8	29	3	76	95
129年度	296	227	48	4	11	167	50	67	11	2	39	307	14	19	25	49	0	117	119
130年度	267	201	29	2	4	138	39	62	0	2	42	296	11	20	27	55	3	103	144
令和元年度	292	137	30	0	5	130	24	56	0	1	29	237	6	11	16	37	12	82	60



# 過去10年間の推移



	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度
訪問件数	342	337	332	343	369	326	373	479	475	342
要支援1・2	102	84	76	96	114	105	146	154	148	117
要介護1～5	93	92	100	115	113	110	107	114	129	100
不明	122	124	136	121	125	96	108	192	168	116
うち独居	126	142	146	172	183	144	180	214	160	151
うち高齢者世帯	83	78	94	71	86	102	98	84	156	104
うち認知症	44	31	31	31	61	71	56	61	76	84
成年後見制度	6	7	9	17	34	52	29	49	55	37
虐待	3	2	1	3	11	8	3	0	3	12

令和元年度 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント実績

【単位：人】

《給付管理合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
要支援1	342	342	347	327	
要支援2	412	438	445	404	
合計	754	780	792	731	3,057
昨年度合計 (比較データ)	687	701	726	727	2,841

【単位：人】

《新規契約合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
要支援1	10	10	9	10	
要支援2	16	15	9	9	
合計	26	25	18	19	88
昨年度合計 (比較データ)	24	19	19	23	85

<別表8>

令和元年度 居宅介護支援事業実績

《令和元年度利用者契約者数（四半期別）》

【単位：人】【単位：％】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	前年比
要支援1・2	25	27	26	23	101	117%
要介護1	15	22	24	26	87	109%
要介護2	33	31	37	39	140	117%
要介護3	14	14	13	7	48	109%
要介護4	11	10	13	12	46	105%
要介護5	3	4	5	3	15	83%
合計	100	108	119	110	437	111%

《介護認定調査業務》 ( ) 内は区外

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3	7	3	6	8	3
10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	9	4	3	6	8

合計 62

<別表9>

●通所介護事業実績

《令和元年度利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】 【単位：％】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	前年比
要介護1	544	474	442	413	1,873	76%
要介護2	782	835	792	703	3,112	108%
要介護3	704	657	575	488	2,424	91%
要介護4	302	250	259	246	1,057	101%
要介護5	195	262	286	324	1,067	118%
合計	2,527	2,478	2,354	2,174	9,533	96%

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
836	878	813	842	829	807
10月	11月	12月	1月	2月	3月
785	800	769	686	721	767

●横浜市通所介護相当サービス実績

《令和元年度利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】 【単位：％】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	前年比
要支援1	79	57	44	45	225	61%
要支援2	264	242	222	195	923	89%
合計	343	299	266	240	1,148	82%

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	117	114	106	101	92
10月	11月	12月	1月	2月	3月
91	89	86	72	84	84

<別表9>

●出席者状況（4半期毎）

項目／月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
定員数 (総合含)	3,640	3,680	3,560	3,520	14,400 (人)
出席者 (通所) (総合含)	2,527	2,478	2,354	2,174	9,533 (人)
	343	299	266	240	1,148 (人)
出席率 (総合含)	78.8	75.4	73.5	68.5	74.1 (%)
入浴 (通所) (総合含)	2,104	2,081	1,936	1,711	7,832 (人)
	248	222	191	170	831 (人)
食事 (通所) (総合含)	2,486	2,416	2,276	2,155	9,333 (食)
	343	299	266	240	1,148 (食)
1日平均人数 (総合含)	31.5	30.1	29.4	29.7	29.6 (人) (年平均)
稼動日数	91	92	89	88	360 (日)

<以上>

〈別表10〉

101 社会福祉法人 聖母会

公益事業 原宿地域ケアプラザ拠点区分 資金収支計算書

第一号第四様式

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考	
収 入	介護保険事業収入	12,423,000	12,477,616	△ 54,616		
	居宅介護支援介護料収入	5,823,000	5,886,802	△ 63,802		
	介護予防支援介護料収入	5,823,000	5,886,802	△ 63,802		
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	6,600,000	6,590,814	9,186		
	事業費収入	6,600,000	6,590,814	9,186		
	地域包括支援センター収入	51,368,000	51,188,929	179,071		
	地域包括支援センター収入	51,278,000	51,098,802	179,198		
	地域包括支援センター収入	51,278,000	51,098,802	179,198		
	その他の事業収入	90,000	90,127	△ 127		
	受託事業収入(公費)	90,000	90,127	△ 127		
	その他の収入	166,000	210,690	△ 44,690		
	雑収入	166,000	210,690	△ 44,690		
	その他雑収入	166,000	210,690	△ 44,690		
	事業活動収入計(1)	63,957,000	63,877,235	79,765		
	事 業 活 動 に よ る 収 支	人件費支出	45,561,000	45,476,780	84,220	
		職員給料支出	25,390,000	25,323,784	66,216	
		職員俸給支出	19,301,000	19,283,505	17,495	
管理職手当支出		328,000	325,212	2,788		
主任手当支出		120,000	120,000	0		
特殊業務手当支出		556,000	554,531	1,469		
職務手当支出		840,000	839,825	175		
扶養手当支出		1,846,000	1,845,000	1,000		
住居手当支出		960,000	960,000	0		
宿直手当支出		6,000	6,000	0		
時間外手当支出		390,000	348,473	41,527		
通勤手当支出		1,043,000	1,041,238	1,762		
職員賞与支出		6,596,000	6,594,359	1,641		
非常勤職員給与支出		6,196,000	6,171,002	24,998		
有期・無期職員賞与支出		5,991,000	5,969,732	21,268		
有期・無期職員通勤支出		205,000	201,270	3,730		
退職給付支出		1,739,000	1,736,642	2,358		
法定福利費支出		5,640,000	5,650,993	△ 10,993		
事業費支出		5,390,000	5,189,653	200,347		
水道光熱費支出		4,764,000	4,590,085	173,915		
保険料支出		56,000	55,380	620		
賃借料支出		56,000	55,262	738		
車輛費支出		27,000	21,610	5,390		
雑支出		487,000	467,316	19,684		
事務費支出		16,509,000	16,170,000	339,000		
福利厚生費支出		151,000	140,737	10,263		
旅費交通費支出		82,000	51,430	30,570		
研修研究費支出		40,000	28,110	11,890		
事務消耗品費支出		542,000	445,033	96,967		
印刷製本費支出		252,000	199,548	52,452		
修繕費支出		394,000	391,416	2,584		
通信運搬費支出		708,000	657,071	50,929		
広報費支出		32,000	28,470	3,530		
業務委託費支出		11,575,000	11,540,683	34,317		
業務委託費支出		10,007,000	9,962,574	44,426		
拠点区分等業務委託費支出		1,568,000	1,578,109	△ 10,109		
手数料支出		354,000	333,854	20,146		
租税公課支出		13,000	12,900	100		
保守料支出		1,709,000	1,713,290	△ 4,290		
渉外費支出		14,000	8,630	5,370		
諸会費支出		25,000	24,542	458		
雑支出		618,000	594,286	23,714		
事業活動支出計(2)		67,460,000	66,836,433	623,567		
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		△ 3,503,000	△ 2,959,198	△ 543,802		
施 設 整 備 等 に 関 する 収 支		収入 施設整備等補助金収入	0	0	0	
		施設整備等収入計(4)	0	0	0	
		支出 固定資産取得支出	0	0	0	
	施設整備等支出計(5)	0	0	0		
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	0	0	0			
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 支	収入 積立資産取崩収入	736,000	735,392	608		
	退職給付引当資産取崩収入	736,000	735,392	608		
	事業区分間繰入金収入	3,990,000	3,990,000	0		
	事業区分間繰入金収入	3,990,000	3,990,000	0		
	その他の活動による収入	0	0	0		
	その他の活動収入計(7)	4,726,000	4,725,392	608		
	支出 積立資産支出	626,000	625,665	335		
	退職給付引当資産支出	626,000	625,665	335		
その他の活動による支出	0	0	0			
その他の活動支出計(8)	626,000	625,665	335			

## 公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	4,100,000	4,099,727	273	
予備費支出 (10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	597,000	1,140,529	△ 543,529	
前期末支払資金残高 (12)	983,211	983,211	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	1,580,211	2,123,740	△ 543,529	

公益事業 原宿地域ケアプラザ拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減
収 益	介護保険事業収益	12,477,616	11,491,116	986,500
	居宅介護支援介護料収益	5,886,802	5,221,869	664,933
	介護予防支援介護料収益	5,886,802	5,221,869	664,933
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	6,590,814	6,269,247	321,567
	事業収益	6,590,814	6,269,247	321,567
	地域包括支援センター収益	51,188,929	52,136,741	△ 947,812
	地域包括支援センター収益	51,098,802	52,047,441	△ 948,639
	地域包括支援センター収益	51,098,802	52,047,441	△ 948,639
	その他の事業収益	90,127	89,300	827
	受託事業収益(公費)	90,127	89,300	827
サービス活動収益計(1)	63,666,545	63,627,857	38,688	
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	人件費	45,385,053	47,598,634	△ 2,213,581
	職員給料	25,323,784	28,533,691	△ 3,209,907
	職員俸給	19,283,505	22,063,847	△ 2,780,342
	管理職手当	325,212	157,536	167,676
	主任手当	120,000	120,000	0
	特殊業務手当	554,531	777,529	△ 222,998
	職務手当	839,825	1,087,184	△ 247,359
	扶養手当	1,845,000	1,440,000	405,000
	住居手当	960,000	1,020,000	△ 60,000
	宿直手当	6,000	6,000	0
	時間外手当	348,473	747,203	△ 398,730
	通勤手当	1,041,238	1,114,392	△ 73,154
	職員賞与	4,192,359	4,779,620	△ 587,261
	賞与引当金繰入	2,783,000	2,765,000	18,000
	非常勤給与	6,171,002	4,448,810	1,722,192
	有期・無期職員賃金	5,969,732	4,320,772	1,648,960
	有期・無期職員通勤費	201,270	114,380	86,890
	有期・無期職員賞与	0	13,658	△ 13,658
	退職給付費用	1,626,915	1,706,156	△ 79,241
	法定福利費	5,287,993	5,365,357	△ 77,364
	事業費	5,189,653	4,846,538	343,115
	水道光熱費	4,590,085	4,260,488	329,597
	保険料	55,380	74,320	△ 18,940
	賃借料	55,262	54,756	506
	車輛費	21,610	76,966	△ 55,356
	雑費	467,316	380,008	87,308
	事務費	16,170,000	16,092,490	77,510
	福利厚生費	140,737	157,974	△ 17,237
	旅費交通費	51,430	55,220	△ 3,790
	研修研究費	28,110	87,682	△ 59,572
	事務消耗品費	445,033	531,689	△ 86,656
	印刷製本費	199,548	474,802	△ 275,254
	修繕費	391,416	566,742	△ 175,326
	通信運搬費	657,071	697,266	△ 40,195
	広報費	28,470	30,960	△ 2,490
	業務委託費	11,540,683	10,836,155	704,528
	業務委託費	9,962,574	9,408,513	554,061
	拠点区分等業務委託費	1,578,109	1,427,642	150,467
	手数料	333,854	300,052	33,802
	租税公課	12,900	22,200	△ 9,300
	保守料	1,713,290	1,659,876	53,414
	渉外費	8,630	10,930	△ 2,300
	諸会費	24,542	23,542	1,000
	雑費	594,286	637,400	△ 43,114
	減価償却費	0	82,346	△ 82,346
車輛運搬具減価償却費	0	52,111	△ 52,111	
器具及び備品減価償却費	0	30,235	△ 30,235	
サービス活動費用計(2)	66,744,706	68,620,008	△ 1,875,302	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 3,078,161	△ 4,992,151	1,913,990	
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	受取利息配当金収益	0	0	0
	その他のサービス活動外収益	210,690	111,056	99,634
	雑収益	210,690	111,056	99,634
	その他雑収益	210,690	111,056	99,634
	サービス活動外収益計(4)	210,690	111,056	99,634
	その他のサービス活動外費用	0	0	0
サービス活動外費用計(5)	0	0	0	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	210,690	111,056	99,634	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 2,867,471	△ 4,881,095	2,013,624	
収 益	事業区分間繰入金収益	3,990,000	4,990,000	△ 1,000,000
	特別収益計(8)	3,990,000	4,990,000	△ 1,000,000
	費用	0	0	0
費 用	固定資産売却損・処分損	0	0	0
	特別費用計(9)	0	0	0



## 公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減
	特別増減差額 (10) = (8) - (9)	3,990,000	4,990,000	△ 1,000,000
	予備費	0	0	0
	税引前当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	1,122,529	108,905	1,013,624
	法人税、住民税及び事業税 (12)	0	0	0
	過年度法人税等 (13)	0	0	0
	法人税等調整額 (14)	0	0	0
	過年度法人税等調整額 (15)	0	0	0
	当期活動増減差額 (16) = (11) - (12) - (13) - (14) - (15)	1,122,529	108,905	1,013,624
繰越額の 活動部 増減	前期繰越活動増減差額 (17)	△ 1,773,356	△ 1,882,261	108,905
	当期末繰越活動増減差額 (18) = (16) + (17)	△ 650,827	△ 1,773,356	1,122,529
	基本金取崩額 (19)	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (20)	0	0	0
	その他の積立金積立額 (21)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額 (22) = (18) + (19) + (20) - (21)	△ 650,827	△ 1,773,356	1,122,529

公益事業 原宿地域ケアプラザ拠点区分 貸借対照表

第三号第四様式

令和2年3月31日現在

公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	13,711,073	12,162,699	1,548,374	流動負債	14,370,333	13,944,488	425,845
現金預金	11,660,614	9,843,466	1,817,148	短期運営資金借入金	0	0	0
事業未収金	2,040,967	1,999,627	41,340	事業未払金	11,348,302	10,934,184	414,118
未収金	560	319,606	△ 319,046	その他の未払金	0	0	0
未収補助金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
未収収益	0	0	0	未払費用	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	預り金	0	0	0
医薬品	0	0	0	職員預り金	0	0	0
診療・療養費等材料	0	0	0	前受金	0	0	0
給食用材料	0	0	0	前受収益	0	0	0
商品・製品	0	0	0	事業区分間借入金	171,575	216,394	△ 44,819
立替金	0	0	0	拠点区分間借入金	67,456	28,910	38,546
前払金	0	0	0	仮受金	0	0	0
前払費用	8,932	0	8,932	未払法人税等	0	0	0
短期貸付金	0	0	0	未払消費税等	0	0	0
仮払金	0	0	0	賞与引当金	2,783,000	2,765,000	18,000
その他の流動資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
△徴収不能引当金	0	0	0	固定負債	7,086,486	7,730,781	△ 644,295
固定資産	7,094,919	7,739,214	△ 644,295	設備資金借入金	0	0	0
基本財産	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
土地	0	0	0	リース債務	0	0	0
建物	0	0	0	退職給付引当金	7,086,486	7,730,781	△ 644,295
定期預金	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	負債の部合計	21,456,819	21,675,269	△ 218,450
その他の固定資産	7,094,919	7,739,214	△ 644,295	純 資 産 の 部			
土地	0	0	0	基本金	0	0	0
建物	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
構築物	0	0	0	次期繰越活動増減差額	△ 650,827	△ 1,773,356	1,122,529
機械及び装置	0	0	0	(うち当期活動増減差額)	1,122,529	108,905	1,013,624
車輛運搬具	1	1	0				
器具及び備品	2	2	0				
建設仮勘定	0	0	0				
有形リース資産	0	0	0				
権利	0	0	0				
ソフトウェア	0	0	0				
無形リース資産	0	0	0				
長期貸付金	0	0	0				
退職給付引当資産	7,086,486	7,730,781	△ 644,295	純資産の部合計	△ 650,827	△ 1,773,356	1,122,529
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	8,430	8,430	0	負債及び純資産の部合計	20,805,992	19,901,913	904,079
資産の部合計	20,805,992	19,901,913	904,079				

介護保険施設 原宿地域777 79\* 拠点区分 資金収支計算書

第一号第四様式

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

介護保険施設 原宿地域777 79\*

(単位:円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
事 業 活 動 に よ る 収 支	介護保険事業収入	134,608,000	135,422,960	△ 814,960	
	居室介護料収入	101,230,000	102,232,071	△ 1,002,071	
	(介護報酬収入)	89,756,000	90,557,527	△ 801,527	
	介護報酬収入	89,756,000	90,557,527	△ 801,527	
	(利用者負担金収入)	11,474,000	11,674,544	△ 200,544	
	介護負担金収入(公費)	644,000	721,640	△ 77,640	
	介護負担金収入(一般)	10,830,000	10,952,904	△ 122,904	
	居室介護支援介護料収入	16,211,000	16,008,175	202,825	
	居室介護支援介護料収入	15,277,000	15,109,279	167,721	
	介護予防支援介護料収入	934,000	898,896	35,104	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	7,289,000	7,158,984	130,016	
	事業費収入	6,698,000	6,587,883	110,117	
	事業負担金収入(公費)	80,000	86,380	△ 6,380	
	事業負担金収入(一般)	511,000	484,721	26,279	
	利用者等利用料収入	8,295,000	8,408,815	△ 113,815	
	食費収入(一般)	7,794,000	7,806,600	△ 12,600	
	その他の利用料収入	501,000	602,215	△ 101,215	
	その他の事業収入	1,583,000	1,614,915	△ 31,915	
	補助金事業収入(公費)	54,000	85,661	△ 31,661	
	受託事業収入(公費)	264,000	269,550	△ 5,550	
	拠点区分間等受託収入	1,265,000	1,259,704	5,296	
	経常経費寄附金収入	10,000	10,000	0	
	寄附金収入	10,000	10,000	0	
	受取利息配当金収入	162,000	162,792	△ 792	
	受取利息配当金収入	162,000	162,792	△ 792	
	その他の収入	5,666,000	5,719,504	△ 53,504	
	受入研修費収入	5,000	38,000	△ 33,000	
	受入研修費収入	5,000	38,000	△ 33,000	
	利用者等外給食費収入	1,269,000	1,285,600	△ 16,600	
	利用者等外給食費収入	1,269,000	1,285,600	△ 16,600	
	雑収入	4,392,000	4,395,904	△ 3,904	
退職給付引当資産返還差額収入	4,316,000	4,316,773	△ 773		
施設整備使用料収入	0	80	△ 80		
その他雑収入	76,000	79,051	△ 3,051		
事業活動収入計(1)	140,446,000	141,315,256	△ 869,256		
人件費支出	112,140,000	111,267,081	872,919		
職員給料支出	42,611,000	42,352,486	258,514		
職員俸給支出	33,751,000	33,701,211	49,789		
管理職手当支出	178,000	177,060	940		
主任手当支出	120,000	120,000	0		
特殊業務手当支出	1,125,000	1,123,987	1,013		
処遇改善手当支出	2,469,000	2,397,400	71,600		
扶養手当支出	1,321,000	1,320,000	1,000		
住居手当支出	981,000	980,000	1,000		
宿直手当支出	106,000	97,000	9,000		
時間外手当支出	1,064,000	940,834	123,166		
その他手当支出	24,000	24,000	0		
通勤手当支出	1,472,000	1,470,994	1,006		
職員賞与支出	11,812,000	11,811,285	715		
非常勤職員給与支出	34,936,000	34,375,652	560,348		
有期・無期職員賃金支出	34,288,000	33,734,932	553,068		
有期・無期職員通勤支出	648,000	640,720	7,280		
派遣職員費支出	1,130,000	1,129,360	640		
退職給付支出	9,472,000	9,470,403	1,597		
法定福利費支出	12,179,000	12,127,895	51,105		
事業費支出	16,165,000	15,667,214	497,786		
給食費支出	6,633,000	6,302,692	330,308		
給食費支出	6,633,000	6,302,692	330,308		
保健衛生費支出	257,000	244,462	12,538		
教養娯楽費支出	258,000	243,484	14,516		
日用品費支出	63,000	40,088	22,912		
水道光熱費支出	5,671,000	5,671,611	△ 611		
消耗器具備品費支出	668,000	616,073	51,927		
保険料支出	1,168,000	1,166,470	1,530		
賃借料支出	212,000	210,664	1,336		
車輛費支出	1,235,000	1,171,670	63,330		
事務費支出	13,564,000	13,306,426	257,574		
福利厚生費支出	611,000	590,797	20,203		
職員被服費支出	30,000	29,887	113		
旅費交通費支出	36,000	24,600	11,400		
研修研究費支出	162,000	134,580	27,420		
事務消耗品費支出	731,000	631,690	99,310		
印刷製本費支出	231,000	198,919	32,081		

## 介護保険施設 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考	
事業活動による収支	支 出	修繕費支出	1,647,000	1,645,960	1,040	
		通信運搬費支出	711,000	688,322	22,678	
		広報費支出	145,000	138,970	6,030	
		業務委託費支出	3,152,000	3,149,427	2,573	
		業務委託費支出	1,072,000	1,069,427	2,573	
		拠点区分等業務委託費支出	2,080,000	2,080,000	0	
		手数料支出	1,158,000	1,101,727	56,273	
		土地・建物賃借料支出	1,354,000	1,353,120	880	
		租税公課支出	1,264,000	1,307,400	△ 43,400	
		保守料支出	1,777,000	1,768,677	8,323	
		渉外費支出	72,000	63,017	8,983	
		諸会費支出	43,000	42,542	458	
		雑支出	440,000	436,791	3,209	
		利用者負担軽減額	117,000	145,662	△ 28,662	
		居宅介護料利用者負担軽減額	117,000	145,662	△ 28,662	
		その他の支出	1,269,000	1,285,600	△ 16,600	
利用者等外給食費支出	1,269,000	1,285,600	△ 16,600			
事業活動支出計 (2)	143,255,000	141,671,983	1,583,017			
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		△ 2,809,000	△ 356,727	△ 2,452,273		
施設整備等による収支	収 入	施設整備等補助金収入	0	0	0	
		固定資産売却収入	9,000	9,430	△ 430	
		車両運搬具売却収入	1,000	1,100	△ 100	
		その他の固定資産売却収入	8,000	8,330	△ 330	
	施設整備等収入計 (4)	9,000	9,430	△ 430		
	支 出	固定資産取得支出	857,000	856,656	344	
器具及び備品取得支出		857,000	856,656	344		
事務用器具備品取得支出		857,000	856,656	344		
施設整備等支出計 (5)	857,000	856,656	344			
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 848,000	△ 847,226	△ 774		
その他の活動による収支	収 入	積立資産取崩収入	5,303,000	5,303,302	△ 302	
		退職給付引当資産取崩収入	3,173,000	3,173,380	△ 380	
		介護施設繰越積立資産取崩収入	2,130,000	2,129,922	78	
		備品等購入積立資産取崩収入	857,000	857,000	0	
		修繕 (CP) 積立資産取崩収入	1,273,000	1,272,922	78	
		その他の活動による収入	24,000	24,000	0	
		差入保証金返還収入	24,000	24,000	0	
	その他の活動収入計 (7)	5,327,000	5,327,302	△ 302		
	支 出	積立資産支出	1,100,000	1,098,955	1,045	
		退職給付引当資産支出	1,100,000	1,098,955	1,045	
		事業区分間繰入金支出	3,990,000	3,990,000	0	
		事業区分間繰入金支出	3,990,000	3,990,000	0	
		その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計 (8)	5,090,000	5,088,955	1,045			
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		237,000	238,347	△ 1,347		
予備費支出 (10)		0	0	0		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 3,420,000	△ 965,606	△ 2,454,394		
前期末支払資金残高 (12)		51,481,354	51,481,354	0		
当期末支払資金残高 (11) + (12)		48,061,354	50,515,748	△ 2,454,394		

介護保険施設 原宿地域ケアセンター拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

介護保険施設 原宿地域ケアセンター

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減
収 益	介護保険事業収益	135,422,960	138,428,621	△ 3,005,661
	居宅介護料収益	102,232,071	105,056,416	△ 2,824,345
	(介護報酬収益)	90,557,527	92,916,468	△ 2,358,941
	介護報酬収益	90,557,527	92,916,468	△ 2,358,941
	(利用者負担金収益)	11,674,544	12,139,948	△ 465,404
	介護負担金収益(公費)	721,640	781,471	△ 59,831
	介護負担金収益(一般)	10,952,904	11,358,477	△ 405,573
	居宅介護支援介護料収益	16,008,175	15,126,545	881,630
	居宅介護支援介護料収益	15,109,279	14,145,994	963,285
	介護予防支援介護料収益	898,896	980,551	△ 81,655
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	7,158,984	8,266,296	△ 1,107,312
	事業収益	6,587,883	7,558,824	△ 970,941
	事業負担金収益(公費)	86,380	100,006	△ 13,626
	事業負担金収益(一般)	484,721	607,466	△ 122,745
	利用者等利用料収益	8,408,815	8,479,484	△ 70,669
	食費収益(一般)	7,806,600	7,793,800	12,800
	その他の利用料収益	602,215	685,684	△ 83,469
	その他の事業収益	1,614,915	1,499,880	115,035
	補助金事業収益(公費)	85,661	47,494	38,167
	受託事業収益(公費)	269,550	442,260	△ 172,710
	拠点区分間等受託収益	1,259,704	1,010,126	249,578
	経常経費寄附金収益	10,000	0	10,000
	寄附金収益	10,000	0	10,000
	その他の収益	4,316,773	0	4,316,773
	退職引当資産返還差額収益	4,316,773	0	4,316,773
	サービス活動収益計(1)	139,749,733	138,428,621	1,321,112
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部 費 用	人件費	109,371,656	108,178,803	1,192,853
	職員給料	42,352,486	48,712,176	△ 6,359,690
	職員俸給	33,701,211	37,084,067	△ 3,382,856
	管理職手当	177,060	390,168	△ 213,108
	主任手当	120,000	120,000	0
	特殊業務手当	1,123,987	1,114,947	9,040
	処遇改善手当	2,397,400	3,378,000	△ 980,600
	扶養手当	1,320,000	2,340,000	△ 1,020,000
	住居手当	980,000	1,140,000	△ 160,000
	宿直手当	97,000	365,000	△ 268,000
	時間外手当	940,834	1,151,865	△ 211,031
	その他手当	24,000	24,000	0
	通勤手当	1,470,994	1,604,129	△ 133,135
	職員賞与	7,864,285	8,205,615	△ 341,330
	賞与引当金繰入	4,721,000	4,542,000	179,000
	非常勤給与	34,375,652	28,357,056	6,018,596
	有期・無期職員賃金	33,734,932	27,670,955	6,063,977
	有期・無期職員通勤費	640,720	504,960	135,760
	有期・無期職員賞与	0	181,141	△ 181,141
	派遣職員費	1,129,360	3,372,088	△ 2,242,728
	退職給付費用	7,395,978	3,172,744	4,223,234
	法定福利費	11,532,895	11,817,124	△ 284,229
	事業費	15,667,214	16,014,545	△ 347,331
	給食費	6,302,692	6,522,091	△ 219,399
	給食費	6,302,692	6,522,091	△ 219,399
	介護用品費	0	10,729	△ 10,729
	保健衛生費	244,462	204,416	40,046
	教養娯楽費	243,484	220,777	22,707
	日用品費	40,088	42,839	△ 2,751
	水道光熱費	5,671,611	5,994,990	△ 323,379
	消耗器具備品費	616,073	535,226	80,847
	保険料	1,166,470	1,074,280	92,190
	賃借料	210,664	74,196	136,468
	車輻費	1,171,670	1,335,001	△ 163,331
	事務費	13,306,426	13,679,246	△ 372,820
	福利厚生費	590,797	761,015	△ 170,218
	職員被服費	29,887	70,631	△ 40,744
	旅費交通費	24,600	18,400	6,200
	研修研究費	134,580	129,833	4,747
	事務消耗品費	631,690	642,318	△ 10,628
	印刷製本費	198,919	447,382	△ 248,463
修繕費	1,645,960	1,534,541	111,419	
通信運搬費	688,322	720,416	△ 32,094	
広報費	138,970	723,505	△ 584,535	
業務委託費	3,149,427	3,176,911	△ 27,484	
業務委託費	1,069,427	1,096,911	△ 27,484	
拠点区分等業務委託費	2,080,000	2,080,000	0	

## 介護保険施設 原宿地域7777

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減
サービス活動増減の部	手数料	1,101,727	653,506	448,221
	土地・建物賃借料	1,353,120	1,399,680	△ 46,560
	租税公課	1,307,400	1,062,000	245,400
	保守料	1,768,677	1,726,614	42,063
	渉外費	63,017	70,330	△ 7,313
	諸会費	42,542	64,542	△ 22,000
	雑費	436,791	477,622	△ 40,831
	利用者負担軽減額	145,662	124,928	20,734
	居宅介護利用者負担軽減額	145,662	124,928	20,734
	減価償却費	2,723,318	2,639,655	83,663
	建物付属設備減価償却費	78,180	77,032	1,148
	機械及び装置減価償却費	91,514	91,514	0
	車輛運搬具減価償却費	264,732	352,977	△ 88,245
	器具及び備品減価償却費	1,515,181	1,344,420	170,761
	ソフトウェア減価償却費	773,711	773,712	△ 1
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 142,054	△ 189,399	47,345	
国庫補助金等積立金取崩額	△ 142,054	△ 189,399	47,345	
サービス活動費用計(2)	141,072,222	140,447,778	624,444	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 1,322,489	△ 2,019,157	696,668	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	162,792	317,707	△ 154,915
	その他のサービス活動外収益	1,402,731	1,482,479	△ 79,748
	受入研修費収益	38,000	40,500	△ 2,500
	利用者等外給食費収益	1,285,600	1,341,100	△ 55,500
	雑収益	79,131	100,879	△ 21,748
	施設整備使用料収益	80	0	80
	その他雑収益	79,051	100,879	△ 21,828
	サービス活動外収益計(4)	1,565,523	1,800,186	△ 234,663
	費用			
その他のサービス活動外費用	1,285,600	1,341,100	△ 55,500	
利用者等外給食費	1,285,600	1,341,100	△ 55,500	
サービス活動外費用計(5)	1,285,600	1,341,100	△ 55,500	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	279,923	459,086	△ 179,163	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 1,042,566	△ 1,560,071	517,505	
特別増減の部	収益			
	固定資産売却益	1,100	0	1,100
	車輛運搬具売却益	1,100	0	1,100
	特別収益計(8)	1,100	0	1,100
	費用			
	固定資産売却損・処分損	3	17,000	△ 16,997
器具及び備品売却損・処分損	3	17,000	△ 16,997	
事業区分間繰入金費用	3,990,000	4,990,000	△ 1,000,000	
特別費用計(9)	3,990,003	5,007,000	△ 1,016,997	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 3,988,903	△ 5,007,000	1,018,097	
予備費	0	0	0	
税引前当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 5,031,469	△ 6,567,071	1,535,602	
法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0	
過年度法人税等(13)	0	0	0	
法人税等調整額(14)	0	0	0	
過年度法人税等調整額(15)	0	0	0	
当期活動増減差額(16) = (11) - (12) - (13) - (14) - (15)	△ 5,031,469	△ 6,567,071	1,535,602	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(17)	53,357,981	55,055,272	△ 1,697,291
	当期末繰越活動増減差額(18) = (16) + (17)	48,326,512	48,488,201	△ 161,689
	基本金取崩額(19)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(20)	2,129,922	4,869,780	△ 2,739,858
	介護施設積立金取崩額	2,129,922	4,869,780	△ 2,739,858
	人件費積立金取崩額	0	2,132,960	△ 2,132,960
	備品等購入積立金取崩額	857,000	1,877,000	△ 1,020,000
	修繕積立金取崩額(CP)	1,272,922	859,820	413,102
	その他の積立金積立額(21)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(22) = (18) + (19) + (20) - (21)	50,456,434	53,357,981	△ 2,901,547

介護保険施設 原宿地域ケアセンター拠点区分 貸借対照表

第三号第四様式

令和2年3月31日現在

介護保険施設 原宿地域ケアセンター

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	63,118,797	65,803,863	△ 2,685,066	流動負債	17,324,049	18,864,509	△ 1,540,460
現金預金	40,080,084	42,901,087	△ 2,821,003	短期運営資金借入金	0	0	0
事業未収金	22,039,420	22,078,486	△ 39,066	事業未払金	11,553,548	12,318,296	△ 764,748
未収金	234,738	111,784	122,954	その他の未払金	0	0	0
未収補助金	37,415	13,644	23,771	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
未収収益	0	0	0	未払費用	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	預り金	4,901	0	4,901
医薬品	0	0	0	職員預り金	0	1,097,413	△ 1,097,413
診療・療養費等材料	0	0	0	前受金	0	0	0
給食用材料	0	0	0	前受収益	0	0	0
商品・製品	0	0	0	仮受金	0	0	0
立替金	0	0	0	未払法人税等	0	0	0
前払金	7,580	25,920	△ 18,340	未払消費税等	1,044,600	906,800	137,800
前払費用	521,408	496,600	24,808	賞与引当金	4,721,000	4,542,000	179,000
短期貸付金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
事業区分間貸付金	198,152	176,342	21,810	固定負債	9,544,549	14,338,924	△ 4,794,375
仮払金	0	0	0	設備資金借入金	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
△徴収不能引当金	0	0	0	リース債務	0	0	0
固定資産	29,198,275	38,021,567	△ 8,823,292	退職給付引当金	9,544,549	14,338,924	△ 4,794,375
基本財産	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
土地	0	0	0	負債の部合計	26,868,598	33,203,433	△ 6,334,835
建物	0	0	0	純 資 産 の 部			
定期預金	0	0	0	基本金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	142,054	△ 142,054
その他の固定資産	29,198,275	38,021,567	△ 8,823,292	その他の積立金	14,992,040	17,121,962	△ 2,129,922
土地	0	0	0	介護施設積立金	14,992,040	17,121,962	△ 2,129,922
建物	298,975	377,155	△ 78,180	次期繰越活動増減差額	50,456,434	53,357,981	△ 2,901,547
構築物	0	0	0	(うち当期活動増減差額)	△ 5,031,469	△ 6,567,071	1,535,602
機械及び装置	334,130	425,644	△ 91,514				
車輛運搬具	7	264,739	△ 264,732				
器具及び備品	2,745,599	3,404,127	△ 658,528				
建設仮勘定	0	0	0				
有形リース資産	0	0	0				
権利	0	0	0				
ソフトウェア	979,885	1,753,596	△ 773,711				
無形リース資産	0	0	0				
長期貸付金	0	0	0				
退職給付引当資産	9,544,549	14,338,924	△ 4,794,375				
介護施設繰越積立資産	14,992,040	17,121,962	△ 2,129,922				
差入保証金	216,000	240,000	△ 24,000				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	87,090	95,420	△ 8,330				
資産の部合計	92,317,072	103,825,430	△ 11,508,358	純資産の部合計	65,448,474	70,621,997	△ 5,173,523
				負債及び純資産の部合計	92,317,072	103,825,430	△ 11,508,358

## 福祉に関する 相談窓口

直接ケアプラザにおこしいただくか、  
電話でのご相談もお受けします。

**Tel.045-854-2293**

閉館時は特別養護老人ホーム太陽の園に  
転送されることになっています。

●月曜日から土曜日 9:00~21:00  
●日曜日・祭日 9:00~17:00

●第3月曜日(館内点検日)  
●年末年始(12/29~1/3)

◎通所介護事業部番号 1471509123  
◎介護予防・日常生活支援総合事業(横浜市内通所介護推進サービス)  
◎在宅介護支援センター番号 1471205123  
◎介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業部番号 1491000587

### 個人情報保護に関する考え(取り組み)

- ◎私たちは、相談の知り得た利用者及びその家族に関する個人情報について、第三者に漏らすことはありません。
- ◎私たちは、あらかじめ利用者の同意を講じた上で、利用者へサービスを提供する事業者との連絡調整など必要な範囲内において、利用者の個人情報を利用することとします。



※入口は道路奥1階です(市営住宅1階)

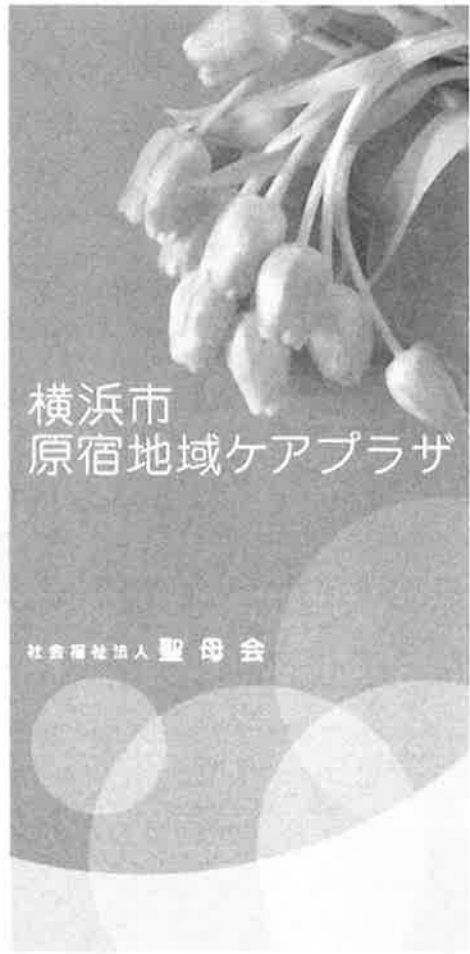
### ●JR各駅よりバスをご利用の場合

戸塚駅西口	○藤沢駅行 ○磯野公園・横浜大船行 ○ドリームハイツ行 ○横浜西船センター行	○目の裏前 徒歩2分	横浜市原宿地域ケアプラザ
大船駅西口	○磯野公園・横浜大船行 ○ドリームハイツ行 ○立場ターミナル行	○横浜西船センター 徒歩8分	
藤沢駅北口	○戸塚バスセンター ○磯野公園・横浜大船行 ○ドリームハイツ行 ○公文国際学園行	○原宿四つ角 徒歩7分	
大船駅西口	○藤沢駅北口行 (原宿・公文経由)	○目の裏前 徒歩1分	
		○原宿四つ角 徒歩2分	

### 横浜市原宿地域ケアプラザ

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿4丁目36番1号(1階)  
Tel.045-854-2291(代) Fax.045-854-2299  
http://www.harajuku-cp.jp

●MEMO



## 横浜市原宿地域ケアプラザ

ひとひとのあいだに ひとひとのなかに よろこびを...

住みなれた街で 安心して暮らせるよう  
在宅生活を支援します

### 通所介護事業

- 通所介護
- 介護予防・日常生活支援総合事業

介護保険で、要支援・要介護と認定された方などに  
送迎、食事、入浴、機能訓練などのサービスを提供します。

### 生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で暮らし続けられるように  
高齢者の生活支援・介護予防の体制整備を地域の皆様とともに行います。

### 地域包括支援センター

高齢者の方々が住み慣れた地域で生活を続けていくために、必要に応じて介護保険やその他のサービスを上手に利用していただくことができるように、社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーなど専門スタッフが、総合的な相談や権利擁護など、様々な支援を行います。

### 地域活動交流事業

こどもも高齢者も障害のある人もともにこの地域でよりよく生きることができるよう  
まちづくりの支援を地域の皆様とともにしています。

福祉保健活動団体の会場の貸し出し、集い等の貸し出し等。

また、「要支援」になるおそれのある方から「要支援1~2」の方まで介護予防のケアプランの作成やアドバイスを  
行います。

他当地区 原宿1丁目~5丁目・東原町・小雀町・影取町・深沢町2~3丁・深谷利の一部

### 居宅介護支援事業

家族や地域の関係者・関係機関と連絡調整をとりながら、要介護・要支援認定を受けた方々が、地域でその人らしく、自立した生活を送れるようケアプラン(居宅サービス計画書)を作成します。



★福祉・保健等に関する相談や当プラザの見学等、お気軽にお問い合わせ下さい。